



2023年1月 第11号
発行:上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下弓削515
NPO法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 TEL 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yuguru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

- 目的
①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
●活動
②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
●入会/退会
④入退会には特に条件を定めない。

新年を迎え、令和4年の様々な不届きな出来事が、どうか良い方向に収束されるようにと、切に願っている。

昨年は、昔なら簡単に内閣がぶっ飛んだような政権幹部の発言や行動があつても、政権与党は隠蔽、擁護を繰り返して、責任を取ろうとしなかった。

高齢者の年金は削られ、社会保障、子育て、教育、生活困窮者救済などはほとんど後退。いわば一億総派遣社員化とでもいえる労働者の不安定化で国民総生産も、賃金も三流国、四流国並になったといわれた。
社会の少子高齢

いま問われているのは

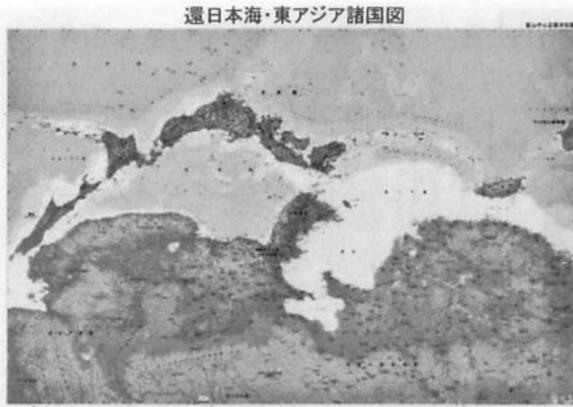
私たちはどう生きるか

化が進む一方の現実、地方の疲弊の帰結でもあり、地方自治の根幹も揺らいでいる。さらにコロナで社会不安を煽りつつ軍拡を進めようという政治は常軌を逸していると言わざるを得まい。

あろうことか憲法遵守義務のある政治家や公務員が、憲法の非戦規定を踏み外す企て、我が

国が戦争に巻き込まれやすくなる憲法改悪を目標にしている。

掲載の地図をご覧になれば、大陸からは日本がどのよう



なぜこんなことに?
一政党に単独過半数の議席を与え、重大政策を国会に諮らず「閣議決定」というふざけた独裁まがいを許しているからにはかならない。それは多数決原理の意図的誤用であり、「民主主義への冒瀆」だろう。主権在民は日本国憲法の背骨。ならばいま問われているのは、「私たちはどう生きるか」ではないのだろうか。
(自治研世話人・平山和昭)

島っこ保育留学・里親活動の推進

(その3)

地方では若者が減り、都会には生活に疲れた若者がいる。疲れた若者が地方に移れば地方と都会の双方にプラスになるのではと考えたのが挑戦の始まりです。

田舎の自然に触れたいと感じ、最初は体験農業から始め、農家の手伝いや選果場の体験、島の主産業柑橘の勉強して、地元農家の方の指導と近所の方との触れ合いにより、農地を借り日々挑戦しています。

町の少子化対策、空き家対策、観光対策、就農、対策などと連携することがイターン、Uターンのきっかけとなり、「島っこ保育留学」「里親の街創り」



子どもは、社会の大事な大事な、宝もの

にもつながると信じています。移住したいという子育て世代を呼び込むため地域全体で取り込むには、組織が重要です。補助金を当てにせず、独自に事業を展開します。

現在、自治研究会、何でもやる会、敬老会、婦人会、青年団、趣味の会、スポーツの会、散歩の会、ラジオ体操の会、未来塾、イベント組織、PTA、NPO法人、子供が元気なまちづくり、人が元気なまちづくり、生業が元気なまちづくり、学校支援ボランティア、農業委員会、人権擁護委員、島親、子ども食堂、

島おこし協力隊、農林水産物ブランド化研究会、里親の会、保育園留学の会、等色々の組織があります。参加人数問題、後継者問題、広報活動、PR方法、集合を楽しくする方法、勉強会の講師、参加費の問題など色々な課題も有ります。しかしながらそれぞれの組織の特徴は伸ばしつつ必要な情報は共有する。そうした仕組みでまとめれば信用力は高まります。共通する問題を計上し、共有できる部分はないか、一緒にやればより効率上がる課題はないかを探れば、問題解決につながります。

岩城・岡田賢二
連絡先:上島町岩城
☎090-1245-0505 Eメール
sukejehatitoto@yahoo.co.jp

旧弓削商船学校
昔物語り その2



学校設立功労者
初代校長 小林善四郎

小林善四郎の校長退任は、大正九年十二月、善四郎六十二歳のときだった。(1920年)
善四郎は退任2年前の六十歳のときを辞職の機と考えていたが、欧州大戦のおおりで教員払底、後任もいなかったもので、やむを得ず伸ばしたものの、同年十一月十二日に妻か称さんを亡くし、ために老母の世話のしかかかってきたこと。後任に教頭の長谷川治作の昇任を得たことで辞職を決めた。翌年一月二十九日に開かれた校長退任式で事情説明をしている。その後善四郎は体調を崩し、京都で静養していたが、退任後十年目の昭和五年(1930年)一月十九日、世を去った。善四郎の墓は西宮にあると、「六十年史」には写真が掲載されているが、実はそれは現在、弓削島の自性寺にある。墓の表面には、小林善四郎 妻か称、とのみ刻まれ、側面には大正十年十一月、小林敬吉建之とある。背面には最初に「善四郎」、続いて「か称」の命日が刻まれている。大正十年は、善四郎の妻の没後一年。しかも善四郎はそのころ存命で京都にあつたはず。するとこの敬吉と善四郎との関係は?。改めてこの墓碑をみると、善四郎という人物がいずれこの墓の住人になる前提でアレンジされており、前年故人となつた妻と、存命の夫の両名併記。それは善四郎本人以外の者することだろうか?



小林善四郎夫妻の墓所
上島町弓削島下弓削・自性寺

善四郎は幼時、小林家の養子となつた。この墓を建てた敬吉とは養家小林家の当主かもしれないが、善四郎の命日も敬吉が刻んだ?。まあ色々タミステリアスな墓地ではある。この墓は昭和三十七年以降のいずれかの時期、坪内寿夫(1914~1999)を始めとする旧商船学校OBの尽力でこの地に移設されたものであるという。文責・平山和昭
(出典:弓削商船高等学校六〇年史)

自分たちの暮らしを守るのは住民自身

昨年8月から「まちづくり懇談会」が各地で開催されました。この「まちづくり懇談会」で住民の方の生の声が聴けると思っている、生名地区と弓削地区、岩城地区の会に足を運びました。

冒頭、「住民の方の意見を行政が伺うことによつて、今後の政策に参考にさせていただけませんか」と、と町長が挨拶されました。その後、行政からの説明事項として、現在の財政状況と、今年度から始まった住民が利用できる補助金についての説明が行われ、説明に対する質問。それ以外の質問という流れで、短いところでは1時間以内、長いところで2時間ほどの

やり取りが行われました。私が参加した会場では、住民の参加者が少なく、寂しい感じがしました。今までにない少なさでした。これは、住民の方の行政へのあきらめなのか、怒りなのか。とても危機的状況だと感じました。一緒に参加していた女性の方も「なんで参加していいのかね。町が何をしようとしているかわかるのに。」とおっしゃっていました。

最近、選挙の投票率の低さが全国的に目立ちます。わが上島町でも、町長選や議員選の投票率は高いですが、国政や県政になると下がります。

自分たちに身近でないこと、

手が届かないと思えることは、必ず選挙に行かなければならないという考えには至りにくいのでしょうか。同じように、まちづくり懇談会に行つたところで何も変わらないと思われているとしたらとても残念なことです。こういう機会こそ、多くの方に参加していただいて、たくさんの方の声を聴いてもらわなければ、また聴かせなければ、私たちの暮らしが良くなることはありませぬ。

今回参加してみようと思つて、多くの方が自分たちの暮らしをよくする機会を逃して

るのではないかと、ということでは行政側が説明した補助金も、それを知っているのと知らないのとでは、住民側の対応が違つてきます。制度はうまく活用してこそ有益です。かりに制度の利用しにくさがあったとしたら、住民の意見を聴かせることで改善できます。

様々な機会に、自分たちの住む町はどこに向かつているのか、どうなれば幸せな暮らしができるのか、多くの方が参加して考えてこそ、住民の求める町になるのだと思います。

(岩城 大西幸江)

みんなで支え合う島をめざして 住んで良かったと言える地域づくり

平行線とは…。行政は住民の意見をどこまで把握しているのか？。それと職員の返答…。半分以上が町長自ら返答する事が大半。

観光、鳥親、移住、必要性はわかります。取り組みは大事だとは思いますが、現に町民が困っている事、町民の為に今やなくてはならない事があると思います。すぐに結論をださず十分考慮することは大事ではないのか？。など一町民としては、かなりの不満が残りました。

会議全体については、小さい声の人の声が、傍聴席から聞き取れにくい。他の議員が発表している時に集中していないんじゃないか？、と思われる議員がいるように感じた。行政側の方も何課のどなたなのかわからない。机の上に名札が欲しいかな。いずれにせよ町民ファーストの上島町づくりを切にお願いしたいものです。

(岩城・山本ようこ)

先日、上島町社会福祉協議会の令和4年度大会が開催されました。旧くは弓削町社会福祉協議会時代、下弓削の現・中央集会所に事務所があり、当時若い男女の事務職員が元気に頑張つて働いていました。今の時季、桜の落ち葉を毎朝掃除するのが一日の始まりだったと記憶しています。若い女性職員さんが笑顔で応対してくるのので周囲の還暦前後の爺様たちが良く出入りしていたのを覚えて居ます。

先日も同じ12月4日に交流館で被災地の生々しい講演がありました。目の前で海水に呑まれ流されて行く方を助けることができなかった悔しい話をされていました。

タイトルの「みんなで支え合う島」。まずはそれぞれの島で自分の住む地域から、小さいなことでも、できる人で、できることから輪を広げ、町へと繋がればと感じました。

行政の手の届かない住民、特に高齢者への福祉サービスを地域と社会福祉協議会と話し合い協力しながら、住んで良かったと言える地域作りが一歩かと思われました。

この度被表彰者で当時の女性職員さん、弓削町時代にスポーツで住民に元氣と活力を、と導いていただいた会長さん、素敵な笑顔がありました。

暇の奥に40数年前の懐かしさ、若かりし思いを起こさせていただいた「かみじま福祉フェスタ2022」に、感謝とありがとうです。

(幸期高齢者 浜村 寿)

面白かった！初めての町議会傍聴記

議会の様子がTVではなかなか伝わらないから是非傍聴に、と以前より誘いを受けていて今回やっと行ける事ができました。

確かに現場はおもしろかった！の一言！。

選挙時に立候補者全員の政策の状況など把握不足のまま投票に行くので、町長さん、議員さんの働きぶりが納得できない部分もあったり、気になったり。

はたしていま私たちは暮らしやすい町だと実感しているだろうか？。暮らししていくのに便利なのか？。不便なのか？。自分が選んだ人が町民のために動いてくれているのか、いないのかが見えず困惑しているなかで、議会傍聴に行つて目で耳で現実を自分なりに解釈してきました。

女性議員が少ない…。生活していくにあたり困り事が気になる

女性議員が少ない…。生活していくにあたり困り事が気になる

のは女性の方が多いと私は思っています。子育て中の男性議員さえも、状態を見るかぎり困り事の視点が私たち女性の視点からずれている気がします。言われて気がつく！、ではなく、困り事はないか？と議員から町民にあゆみ



よってもらいたいものです。議会の状態…議員と行政のやり取り。中には議題に興味なさげな態度なの？と思うところがあったり、ずっと平行線のやりとりだったり。はて、議員の意見は町民の意見ではないのか？。それが

その爺様との縁で社会福祉協議会との拘わりが生まれ、その頃も今と同じ様に表彰と講演があり、演題は忘れませんが、講師の方が「皆さん早くから小さい子供に何もかも詰め込むことをしなくても大丈夫。その子その子の性格の違いがあるので時期が来るとできるような、するようになります。島には蜜柑が沢山あります。蜜柑にも早生、晩生とあります。早生蜜柑は痛みが早いでしょう。と、子供の成長を蜜柑に例えた話をされました。なるほどね。答えは兎も角そんな話を聞いた記憶があります。

記憶と言えば12年前、東北大震災3・11で町が殆ど壊滅した宮城県女川町から社会福祉協議会の女性職員さんが、奇

開催日時…12月24日(土) 14時～16時

場所…弓削消防庁舎2階

内容…以下の件につき意見交換

- ①機関紙ワトスンの記事校正
- ②上島町入札妨害事件
- ③選挙投票時に配布されたカミリンカードについて
- ④知事選挙の投票率について
- ⑤公共施設の利用規定見直し
- ⑥住民の生活と高齢者の免許証
- ⑦商品券のありかたについて
- ⑦「ゆめしま花のロード」(提案)

●ワトスンのコラムへ投稿募集中です。文字数800字以内です。(ワトスン編集係)

最近になること



① この頃の郵便事情
東京の友人から月に1度ぐらい速達が来る。最初は何かかと思つたが、いつもの文通だ。あちらの言い分は「郵便の配達以前より遅くなったから。」せめて2日後には届いたのに土曜・日曜を挟むと最悪5日はかかる。日本国の郵便事情に失望だ。

パソコンやメールもいろいろ、封書やハガキにお気に入りの切手を貼って楽しむ文化を絶えさせたくない。

② この頃の餅つき事情
毎年恒例だった年末の餅つきが3年連続で中止になった。20人ほどが庭に集まった行事で、島へ移住した方々が増えるのも楽しみだった。コロナを心配するあまりとはいえこれ以上年寄りの体力維持は怪しい。代替わりが期待できればいいのだけど…。(町内・某&某)

開催日時…12月24日(土) 14時～16時

場所…弓削消防庁舎2階

内容…以下の件につき意見交換

- ①機関紙ワトスンの記事校正
- ②上島町入札妨害事件
- ③選挙投票時に配布されたカミリンカードについて
- ④知事選挙の投票率について
- ⑤公共施設の利用規定見直し
- ⑥住民の生活と高齢者の免許証
- ⑦商品券のありかたについて
- ⑦「ゆめしま花のロード」(提案)

●ワトスンのコラムへ投稿募集中です。文字数800字以内です。(ワトスン編集係)



魚島離島留学と地域協力
緻密で周な取り組みを

2023年2月
(令和5年) 第12号

発行: 上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下町515
NPO法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 TEL 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

- 目的
①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
- 活動
②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
- ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
- 入会/退会
④入退会には特に条件を定めない。



▲離島留学事業の舞台・魚島地区

魚島小・中学校には、小学4年生1名、中学1年生2名、3年生1名の4名の児童・生徒が元気で勉強に励んでいる。上島町は昨年10月から魚島離島留学生として、親子型は定員2組程度、合宿型は定員3名程度の留学生(小学5年生〜中学3年生)を募集してきた。

募集に伴い離島留学生寄宿舎として、民家を借受け一部改修工事費用等に三百二十万八千円が補正予算に計上され、12月議会で提出された。

この補正予算と改修予定図面について、12月16日と23日に開催した委員会及び本会議に於いて審議の結果、7対5の賛成多数で可決された。だが、多くの課題が残っている。私は、基本的には留学生事業に反対ではない。しかし委員会及び本会議での質疑応答では、

留学生への対応や、受入れられる魚島地域が納得できると思える答弁がなされなかった。この度の予算案は反対した。端的に言って独善的で、受入れ体制・施設の不備、地域社会への配慮、魚島小・中学校在校生への心配り、教職員の負担増となりがねない教育環境改善にむけて、泥縄の対応としか思えない。残念である。

主な問題点は次のようなものである。

- 1、改修予算及び図面から、男子部屋2室、女子部屋1室の寄宿舎に、トイレ・浴室が一つで男女共用。それでいいのか。トイレ・浴室の増設の提案に明確な答弁がない。
- 2、12月21日現在、担当課の説明では、流動的ながら、男子2名、女子3名、計5名の留学希望者がいて、増加傾向にあるという。合宿型の当初、募集予定は3名ほどとされていたが、希望者が増えた。増えたぶんだけ、みな受け入れるのか、については明確な方針が示されていない。
- 3、寄宿舎の管理運営等は、地域おこし協力隊員の、新規採用者を見込んだ計画だと聞くが、地元住民の理解と協力体制が整っていないなかで、寮母さんの立場での業務をこなせる人材の確保も未定。それで子供達を預る募集に問題は無いのか。
- 4、募集基準には不採用基準が明示されていない。(弓削・濱田高嘉)

日頃おもうことあれこれと

(岩城 山本ようこ)



町からのお知らせについて

私は、上島町ホームページ、防災アプリを自分が見たい、知りたい時にしか開かない。

防災アプリは必要以上に通知が届いてうっとうしい時がある。防災アプリの意味がないと思われるかもしれないが、私は日頃「通知オフ」にしている。ただ今すぐ知りたい事がスマホから情報収集できるのはありがたい。

一番気になるのは船の欠航情報。今まで見た機会は1回だけだが、情報が来るのが遅いと思った。

ホームページはかなり利用しているが、情報をありがたく知る事ができたのは1回だけ。たとえば12月14日の音楽発表会を検索したが、なかなか見つける事ができず結局、知り合いの役場職員さんに尋ねた。行事ごとには開催前日に再度アップしてもらいたいもの。

防災アプリの中に町からのお知らせがある。何でもがWEB(インターネット)からの情報収集になりつつある現状で。果たしてこれで町民に情報が行き届いているのだろうか？

町の広報誌に行事カレンダーがあるが、町民が出向いて行く行事などは、詳しく書くか、書けないのであれば、ホームページのあたりに詳細があるとか記されていればありがたい。

さらに言うと、町内放送も聞き取りにくい。わかりづらい時は窓をあけたり外に出るけれど、結局何を言っていたかわからないままの時がある。

町民を置き去りにしていない？ ホームページ、防災アプリ、広報誌、カレンダー、地区放送、ケーブルテレビなど、お知らせの方法がこんなにもあるのに、実は困っている実態。高齢の方ならなおさらでは？

以前あった防災無線、その前の有線放送の頃には、スマホなどで探さなくても、耳から入ってくるので便利だった。聞き逃した時などは知人に聞いたり、また知人が教えてくれたりと、あの頃は便利だったが、そこへの復帰はありそうもない。ならせめて老若男女に分かりやすく、使いやすく、把握しやすい、充実した広報体系にしてもらいたいと思う。

旧弓削商船学校
昔物語り その2



— 学校設立功労者 —
実業家 田坂初太郎
〔8〕

明治34年創立の弓削村外一ヶ村組合立弓削海員学校は、わが町、生名在任の歴史家・村上貢氏の口癖によれば、「当時瀬戸内海の寒村でよくぞそんなことができたものだ」というものであった。たしかにその頃の村の財政状況を考えれば、村立学校を創設しようなどということは、夢物語に近かったはずで、為政者と議会に強いその意志があったればこそ、というのがこれまで見てきた経緯の骨子ではあるが、では為政者たちにそう思わせた動機とはいったいなんであつたらう。

その流れは、残された資料等で推し量るしかないのではあるが、瀬戸内海の小島の寒村の将来を深く憂え、対応策を考えたいのは、何も村長だけではない。村長にその必要性和実現可能性を信じさせ得た人物の存在があるはずである。その人物こそが、ほかならぬ田坂初太郎であつたと、筆者はみている。そして、初太郎がそういう考えを抱くに至つたのが、つまりは下積みから甲種船長になり、商才もあり、ついには国会議員にまで登りつめた当人の「苦勞と努力」の経験ではなかつたらうか。併せ、初太郎の育つた時代環境、つまり世の気運とでもいうか、幕末明治という大きく国が生まれ変わるという大さく代のうねりがあつたからこそ、とも言えるのではなからうか。



▲田坂初太郎・自伝『努力四十年』私家版

初太郎がどんな人物であつたかなどは、合併前に発行された「弓削町誌」、初太郎の自伝「努力四十年」(せとうち交流館蔵)等で知ることが出来る。ここでは、ときにそれらを紐解きながら、末端地方自治体のこれからを考える自治研究会の趣旨に沿い、住民自治とはどういふことか、我々はいかに生きべきかをさぐつていきたいと考えている。(つづく)

文責・弓削・平山和昭



「子どもたちに民主主義を教えよう」というモノマネの民主教育がありましたが、だれも発言をせず、教師も生徒も困っていました。私も「黙っている方が楽」と思い、指されないように気をつけ、最後の決では多くの手が上がった方に手を上げました。戦後77年たって、このよう

オピニオン オブザピープル 読者投稿欄

な本が出てきたことは、やっと民主主義教育が始まったことでしようか? この本の17ページに「日本人が民主主義を理解しきれない理由は、はっきりしています。それ

は日本がまだかつて、対話をしながら利害関係を調整し、みんなにとって生きやすい社会をつくるという経験がしたことがないからです」とありますが、まったく同感です。「平伏して付度ばかりしている国民に対話などが生まれません。「民主主義」については、私は、今のところ最高の考え方だと思っています。(つづく)

『子どもたちに民主主義を教えよう』 を読んで (1) 早川和江 (東京・随筆家)

工藤勇一、吉野一徳・共著 2022年初版 出版社・あさま社 価格・1800円+税

TVでチビのプーチンが頭一つ大きい若い兵士たちを閲兵している映像を観ていて、大杉栄事件の甘粕大尉を思い出しました。甘粕は陸軍幼年学校に入学し、愛国教育を受けた。少年のやわらかい頭はすべてを吸収し、「天皇=神」となった。プーチンも少年たちを募集して愛国教育をしている。この若い兵士たちは、その学校の卒業生なのだろうか? 「鉄は熱いうちに打て」というように、教育は若い方が効果はある。日本の学校教育の始まりは明治時代であり、国をあげての「富国強兵」の時代であり、学

弓削高校存続と生徒の全国募集

弓削高等学校生の全国募集が始まってから、全国から集まる生徒さんのために島親制度がスタートしました。広報などに何度も島親募集の記事が出ていますが、今回島親の説明会が大々的にあるようなチラシを見たので参加しました。

会場には、弓削高等学校の先生方、公営塾の塾講師の方、島親の活動をされている方、そして一般住民の方は十数名ほど居たようです。

はじめに弓削高校の取り組みが先生から紹介され、現島親さんからは、島親活動の説明がありました。現状の島親活動のメインは、月曜日から金曜日までの夕食の提供。1食あたり500円で、お弁当を提供する。もしくは、

島親制度どう捉えるか 単に今をしのげばよいのか

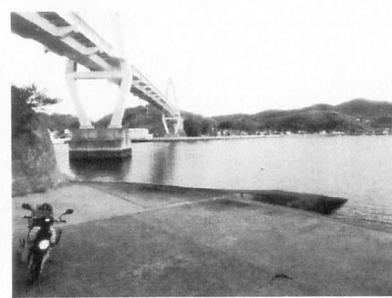
一緒に夕食を食べる。ほかにも買い物等の送迎をしたり、島での活動をサポートするということもあるようです。島親登録をし、自分ができるタイミミングで参加。無理なく続けられる形を目指しているそうです。

六六年前の海難事故と町営船舶の安全運行

昭和32年12月18日の午後4時頃、弓削島の土生と佐島三つ小島の間を、る漕ぎの渡し舟で通う中学生が、舟が転覆する海難事故に遭いました。風の強い夕暮れ時でした。同級生の、メジロの好きだったT君が、帰らぬ人となり、あれから66年の月日が流れました。昨年、もうひとりの同級生と連れだつて墓参しました。「もう八十、まだ八十」と、合掌しながら言いました。

共に墓参した彼いわく、二人で帰る途中、現在ケーブルテレビ局舎のあるあたりから、渡し舟が佐島を漕ぎ出すのが見えた。走れば間に合う。あの便に乗りた。その一心で走り、間に合った。あの時、ひと便遅らせていればなあ・・・と。

海難事故と言えは知床沖のカズワンも、無念の事故でした。北海道からの電話で、「事故の船がテレビに映っている。芸子汽船の船と同じよ」と。実は、



▶六六年前の佐島渡し転覆事故現場
手前佐島三つ子島、対岸弓削橋り浜

活動をしてもらおうという姿勢にとってもモヤモヤしました。令和6年には高校の学寮が完成予定です。では島親活動はどうなるのでしょうか?

弓削高校を残すための一つの取り組みは決して悪いわけではありませんし、公営塾だつて成功事例です。しかし公営塾を作つても、それだけでは高校の存続は難しいということとは、予想ができたはず。全国募集を始める時、募集すれば住まいの問題、同時に食の問題が出るのは想像できたと思います。これは進め方の順番が逆で、最初に全体像をきちんとデザインしたうえで、それぞれの取り組みをつないでいくことが大事ではなかったのか。町の教育に対する本気度と企画力が試されているのだと思います。

瀬戸内海で「ひかり8号」として、三原と生口島を運行していた船と、後ほどお話ししました。スビードの出る良い船だつたそうです。それが渡りわたつて、オホークの海で、老体に鞭打ち、観光客を喜ばせていたのか。時が化けるで「しけ」と読みます。海の荒れ狂うのを幾度となく経験した身には、時化は恐怖でした。怒涛。小山の様な白波のうねりが押し寄せては、また来る。昼間ならそれは見えるので、「来たぞー!」どつすん、どつすん。プルプルと船体が悲鳴をあげます。船体を横向きにするのとたまりも無く沈没。大波が追いかぶる瞬間、大丈夫と祈りながら舵をにぎる手に力を込め、波の波長に合わせるとは、ゴットン、ゴットン、エンジンがスローにして大時化をしのいだのを思い浮かべました。

月例会から・ほか

- 開催日時・12月24日(土) 14時~16時
- 場所・弓削消防庁舎2階
- 内容・以下の件につき意見交換。
①機関紙ワトスンの記事校正。
- ②ゆめしま花のロード企画。
- ③弓削高校島親制度、および島離島留学事業のありか。
- ④他自治体での議員通信簿発行入札不正問題に鑑み、公共工事看板への請負金額明示したかどうか、等。

●オピニオン記事について

ワトスンに、東京在住で編集人の知人でもあるエッセイストから投稿をいただきました。現在日本の学校教育改革に取り組んでいる方の著書を材に、これからの日本の教育について論じられたものです。長文につき2回にわけ掲載します。編集係では引き続き読者のオピニオンへの投稿を募集中です。文字数は500字前後でお願いします。

●訂正(前号分)

ワトスン11号の「月例会から」の記事中、開催日にミスタイクがありました。正しくは11月26日です。お詫びし訂正いたします。(ワトスン編集係)



2023年3月 (令和5年) 第13号
発行: 上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下弓削515
NPO法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 Tel 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋
●目的
①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
●活動
②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
●入会/退会
④入退会には特に条件を定めない。

広報2月号の「さざなみ留学」を読みました。第一期生募集を終え四月から何人かの児童生徒が魚島小中学校に入学となります。「おめでとうございます」は無事笑顔で卒業出来ましたら改めて申し上げます。

うおしまに春は花咲き桜鯛

プロジェクトリーダーの加藤さん、上島町民、特に魚島住民の皆さん、理事者職員含む上島町一丸で取り組む大きな案件だと思えます。弓削高校存続のための寮建設も同じです。

少子高齢化、人口減少で頭を痛める全国の自治体が似た感じの政策を行なっています。全国にアドバランを掲げ、瀬戸内海の離島の町、その魚島に期待と魅力を感じ応募された児童生徒さんが、学び舎を無事卒業したばかりではなく、社会人となり、義務教育時代にお世話になった思い出の魚島に家族で帰島。出来れば移住してもらえ

る目標と夢。その第一歩が令和5年です。入学から卒業までの道程は、筋書きの無い厳しい日々かと想像します。成否は上島町の明

暗を左右すると言っても言い過ぎではないでしょう。令和5年度の第一歩が、この先の二歩三歩に繋がることを信じ、皆で協力しましょう。魚島に今治から移動販売車が来てくれていてのも嬉しい話。お互いさまの絆で、いつまでも「ありがとうございまして」を陰ながら願うところでは。

ところで記事を読んで、私は70年程前の、魚島小学校でのポトボール大会を思い出しました。魚島小のチームとの交流試合を記憶しています。魚島が鯛じゃ鯛じゃで活気に溢れていた時代でした。その後人口減少で団体競技が出来ず一時期は卓球の魚島時代がありました。もしこの「さざなみ留学」を希望する児童生徒で野球チームが組めるようになれば、離



▲離島留学の舞台・魚島小中学校全景

島甲子園創設の「サンデー兆治」こと、故村田兆治さんが天空で喜ぶだろうなく、とか、夢の夢を夢見る八十路です。

義務教育までをどの様に育てるか。家族環境、幼児期の育ち、地域との触れ合い等々で、気力体力精神力、誰一人として同じ個性の子は居ません、受け入れた児童生徒を、竹光ではなく真剣で我が子同様に育む「島親としての覚悟」を望みます。

魚の島、魚島。春は魚島に桜鯛がやって来る。さざなみ留学の桜が、後々まで満開になりま

すよう応援しましょう。
(弓削浜村寿)

上島町入札妨害事件結審から見えること

昨年より上島町を震撼させていた役場職員による入札予定価格漏洩事件の粗方の全容が明らかになり、関与した2名の職員は懲戒免職となり、裁判でも執行猶予が付きましたが、懲役刑の有罪の判決が下され一応の決着が付きました。

「今までも当たり前前によつていたのに、あの人たちは運悪く捕まっただけかわいそうだ。」と言う声も聞こえてきます。「約30年前から談合はあった。」と被告の建設会社関係者が暗黙の慣行が繰り返されてきた実態を証言していますが、それに町側がどの程度関与していたのかは裁判でも明らかにされず、濃い霧に包まれたままとなりました。仮にこの入札情報を漏洩するという行為が、業者を

守り、潰れるのを防いだとしても、そのことで入札金額が高止まりし、適正な競争入札が行われていたよりも多額の税金が費やされていたのだとすれば、上島町民に対する裏切り行為です。そんなことが5年、10年、30年と続いていたのなら、一体どれだけ余分の税金が業者に流れていたのかという点にこそ、決して簡単に許されることではないでしょう。

公務員の原点に立ち返れ

過去に子供たちの為に学校が自由に使っていいという学校活性化補助金を引き続き予算組をしてほしいと何度も訴え嘆願しましたが、本当に町にはお金が無いのだと財政課か

らダメ出しをされた事がありました。他にも子供たちの為にと学校側から上げられた小さな予算も削られ、お年寄りのための予算が却下される一方で特定の業者を助ける為にそういう行為が行われていたとすれば、その業者たちは倒産するのを免れただけだったのだから。良い車に乗ったり、立派な家に住んだり、贅沢な生活をしたりしてないだろうか？

なんとも複雑な気持ちです。今回の事件を踏まえて町として二度とこんなことが起きないように制度を見直すとは言われていますが、町民一人一人は、もつと自分事として税金の使われ方に関心をもち、目を光らせていないと、いざ自分達にその結果が降り注いでくる事になると思います。
(生名 濱田和保)

旧弓削商船学校 昔物語り その2



学校設立功労者
実業家 田坂初太郎

平成の大合併前の旧弓削町時代に刊行された弓削町誌(昭和61年9月刊)はよく出来た町史でもある。町誌編纂については昭和55年10月末に編集委員会が結成され、6年余の時をかけ完成にこぎつけた。残存資料の少ない中、その蒐集には困難をきわめた、とあとがきにある。おかげで時を経て今われわれは先人の歩みを苦勞なくたどることが出来る。歴史は書き残されてなんぼのもの。郷土史家の存在が大切だと、つくづく思うところでもある。

弓削町誌では本稿の主人公である田坂初太郎に関しては4ページを費やして記述されている。もしお持ちならそれを紐解き、お持ちでないなら「せとうち交流館」等の収蔵図書にて閲覧できるのでお楽しみいただけると思う。



弓削島自性寺にある田坂氏系譜の碑。初太郎の起草、湯川亨書

現・国立弓削商船高専の前身である旧・弓削商船学校が瀬戸内海の小島である弓削島に弓削村外一ヶ村(岩城村)組合立で設置出来たにあたっては、まず住民の行政への協力がなければならぬが、当時の村長、村議会はもとより、明治34年当時の弓削島出身の735名の海員およびその家族、ひいては住民に、船員養成機関設置の必要性への理解が十分であったからであろう。その元になったのが、実地上がりである種船長に上り詰め、余勢をかつて実業界での成功、末は国会議員にもなり、四阪島精錬所による煙害問題の解決までした初太郎、郷土の小学校建設への資金援助など、功成りてのちにも広い視野で故郷の発展に尽くす初太郎の赤心な後姿があったからではないかと思うのである。
(つづく)
文責・弓削・平山和昭

なぜもつれる？移住者と地域住民との関係性

広報誌の表現に見る
地域の困惑と苛立ち

県内別子山村での町おこし協力隊員が、地域のグループとのトラブル？で協力隊活動を中途辞任。その顛末を当人がインターネット上に発信した結果、賛否両論、全国的な話題になっていくとの記事がありました。(本年2月5日付け愛媛新聞)。わが町でも、かつて魚島で絶えていた商店復活をするため移住していた協力隊員が、順調にいつているかに見えるのにリタイアしました。

そうなる理由に、地域が限界集落化してゆくなかで、町の取り組んでいる移住定住策の仕組につき一部住民の理解不足、誤解もあつたかもしれませんが、それは、移住者本人にとっては理不尽な批判や干渉と感ぜられる現象だったのかもしれない。残念ながらそのような状況を修復してあげられなかった現地行政職員の、政策遂行に対する熱意はどうだったのか、という思いもします。

今年度から始まる魚島での「さざなみ留学」も協力隊依存の体裁でありながら、地域の方々の協力が得られれば成果をあげるには困難。「なぜそれを？」という論議が不十分だと問題意識の共有が、地域住民と行政との間で出来ず、住民からの協力確保もむづかしくなる。この移住者と移住地域との関係性は、その後発生した別の事件、福井県池田町の広報誌に、自治会からの提言として掲載された『池田暮らしの七か条』

が物議を醸すことにつながっています。

「都会風を吹かさないう心掛けてください」(品定めされることは自然)といった一見無神経な言葉に、「広報誌の表現として不適切」と批判を浴びている『池田暮らしの七か条』。地域状況を知ったうえで読めば、表現に工夫は欲しいものの「そう言いたくなる気持ちもわかる」という意見もある。

池田町は人口約2300人。県内外からの移住者は年間20人ほど。『七か条』の批判されている抜粋要約は以下です。

- 池田町の風景や生活環境の保全、祭りなどの文化の保存は、共同作業によって支えられているのでご参加協力ください。「面倒だ」「うつとおしい」と思う方は、池田暮らしは難しい。
- 今までの自己価値観を押しつけないこと。また都会暮らしを地域に押しつけないよう心掛けてください。これまでの都市暮らしと違うからといって都会風を吹かさないうように。
- プライバシーがないと感じるお節介がある、また多くの人々の注目と品定めがなされていることを自覚してください。どんな人か、何をやる人か、品定めされることは自然です。
- 濃い人間関係を積極的に楽しむ姿勢を持ってください。

さて読者は、これをわが町の実況に照らしどう読み取られるだろう。(弓削 平山和昭)

国語の危機か
氏名の「読み仮名」を戸籍に記載するため戸籍法令の改正に向けた検討が進んでいるのは、別に国民の利便性の

マイナンバーカードにクレジットカード、免許証、保険証など各証書との紐付け照会が容易となることから、令和6年(2024年)以降は戸籍に読み方がカタカナで記載される法改正がされるらしい。もつともどんな読み方でも登録できるという訳ではなさそうで「一般に認められているもの」でなければならぬとされる予定らしいがそこがほれまた・・・



最近きになること

どうなる？戸籍法改正とキラキラネーム

名字読めても名はハテナ人名、ことに若い人たちの、がまるで読めないことが多くなった。いわゆる難読名、別名キラキラネームが、である。

先日もスケートボードの記事を読んでいて、雄斗はかろうじて読めたが、続いて吟雲がどうで音懂がどうなり空良がどうだった。さらに湮璃、海龍、明夢、勇貴斗、慧野巨と続き、ほとんどの選手の名が読めず溜息が出た。むろん当人や関係者には当たり前前に読めるだろうが・・・。

名前という名の十字架

いつの時代でも親が子に名を付けるときは縁起やわが子の幸せを願ってのものだろう。だが付けられた名によっては、子が生まれながらにいじりの対象になる十字架を背負わされる。例えば、かつて「悪魔」と言う名が役所で受理されず物議を醸したこともあった。

現戸籍法では、氏名や生年月日など8項目を戸籍に記載するよう定めるが、氏名の傍訓(=読み仮名)は含んでいない。そのため読みはどうあれ、人名漢字でありさえすればどんな奇抜な名前だって基本的には登録できる。ところが、近年電子決済などの技術が進んだことで、本人特定のために氏名の傍訓を登録しておけば、例えば

ためなどではない。行政手続きのデジタル化を推進するにあたりシステム上の管理や検索をしやすくする狙いがあるからで、あくまでお上の利便性のため。白ける話だが課題はやはり独特の読み方、つまりキラキラネーム等の場合に、記載の可否をどう判断するかということ。それはそうだろう。漢字の正規の読み方なんてぶっ飛ばしているのがキラキラネーム、それが法的に漢字なんてどう読んだっていいとなれば日本国語の根幹の破壊。そんなことを戸籍法の改正などで世に許してよいのかということ。ただ漢字の訓読、アテ読みというのは、実はキラキラだと言えなくも無い。はてさてどうなることやら。(町内某&某)

『子どもたちに民主主義を教えよう』
を読んで(2) 早川和江(東京・随筆家)

工藤勇一、若野一徳・共著 2022年初版 出版社・あさま社 価格・1800円+税

(前号からのつづきです)人間は戦争を繰り返す、為政者は過ちを繰り返す。人間は神にはなれない愚者である。その愚者が間違いを犯さないようにするにはどうするか？まず絶対権力者をつくらないこと、それには権力を分散させる「三権分立」の考え方。長期に治政を任せない「任期」を考えた。統治者を人民に選ばせる「選挙」を考えた、と思います。民主政治とは衆愚政治です。それでも他よりマシだと思います。「共産主義」という考え方があらわれ、共鳴した人々は革命に

むかって進んでいきます。反対勢力との戦いは勿論、仲間内でも殺し合い、最後に残った者が革命の勝者となって全権力を握



りました。スターリン、毛沢東らです。彼らは独裁者となってさらに粛清をくりかえし、多数の人々を殺しました。これはマルクスも考え及ばなかったことで

はないか、と思います。プーチンは憲法を改定して、自分の大統領任期を2036年まで延ばしてしまいました。そしてウクライナ戦争を始めてしまいました。習近平も任期2期の原則を破り、3期目に突入し、政権内を側近ばかりで固めてしまいました。これから先が恐ろしいです。最後の頼りは人民です。人々がマシンな統治者を選ばないといけません。「選挙」は大切です。この本の主旨は「民主主義教育のあり方」です。それは「対話」のできる人間を育てることです。それは、自分の考えを言語化して語り、相手の話を聞く力を育てることと理解しました。以上、本を読んで考えたことを書きました。(おわり)

<編集係より>

お薦め図書紹介
「15歳からのリーダー養成講座」工藤勇一著
発行・幻冬舎・1760円

大胆な学校改革を実現し、教育関係者からその手腕が注目されるカリスマ校長が、生徒たちに自ら「リーダーシップの基本」を講義した全8回の特別授業の書籍版。リーダーシップとは社会で生きる全ての者に必要なものなのに、日本でリーダーが育たないのは学校教育にあるとする著者の行ったリーダー養成講座とはどんなものだったのか？



2023年(令和5年)
4月 第14号

発行: 上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下町削515
NPO法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 ☎ 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yuguru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

- 目的
①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
- 活動
②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町づくりに寄与する町民の自主的活動を応援する。
- ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
- 入会/退会
④入退会には特に条件を定めない。

本年2月に上島町ケーブルテレビのアンケート調査が実施され、広報の折り込みチラシ、ケーブルテレビ、防災無線、ホームページ等と呼びかけがありました。回答したのは57名。この回収率は、世帯で考えても5%ほどにすぎず残念な結果でした。

CATVはメディアの自覚を 質的向上にむけ視聴者の声を大切に

目は、QRコードを読み込んだ回答方法。これでは高齢化率高い上島町で思うように回答が集まると思えません。当初はアンケート結果も公表しないとしていました。せっかく取ったアンケート結果。何らかの形で公表するのがメディアとしての役目の筈。そこで、予算決算委員会でご公表したほうがいいのではないかと質問すると、「公表します」となったのです。が、そこから先がいきません。自由記述の部分は内容を精査し掲載する旨の答弁がされ驚きました。

どんな内容であれ役所側が視聴者の回答をいいとか悪いとか判断して公表の有無を決めるというのは放送法の理念

ゆめしま花ロード 植栽活動開始です



花植栽を開始した岩城浜地区道路沿い

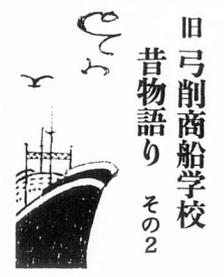
ただいま協賛・協働者募集中!

花の植栽を開始して1カ月経過しました。場所は岩城浜地区のグランドゴルフ場周辺の北側と、東側の園地で、芝桜478本、チューリップ47本、ノースポール17本、キンセンカ9本、ガザニア121本、サイネリア9株、ペコニア18株、パインジー、ビオラ100本を植栽しました。現在順調に育ち、芝桜も花が付き始めました。芝

その後芝桜も咲きそろいます。最初知人から借りたミニ耕運機で園地を耕し雑草の除去を試みましたが、キャブレターが調子悪く思うように動いてくれません。先に手作業で植栽用穴掘り機で穴あけ。小石や防砂ネットに邪魔をされながらの慣れない作業に四苦八苦。穴あけ後、肥料2種類を入れ植栽していき

ました。3月15日現在、799本植栽。まだまだ空きスペースが有るので、今後も増やしていきたいと思えます。グランドゴルフのプレー中の方々からも、綺麗になるね、ご苦労様と声をかけられ、県道通行中の方々からも声をかけて頂き、小学生の通学帰りの児童からも、「がんばって」と声を掛けられ、そばの店舗の奥様からは、井戸水くみ上げているからお花用の水にして下さいと。また近所の方から手伝うよと。地元とのコミュニケーションに繋がると感じました。中でも上島町行政の方から「皆さんが支持してくれればいいですね」と言ってくれました。おかげさまで綺麗になって「ゆめしま花ロード」に繋げ、観光客の増加につながり、移住者、少子化の解消に繋がるよう願っています。ただいま協賛者募集中です。よろしくお願いたします。

連絡先: 上島町岩城
☎090-1245-0505 Eメール
sukeidahitoto@yahoo.co.jp



学校設立功労者
【10】
実業家 田坂初太郎

田坂初太郎が海員学校の設立に関し、多額の支援金、貸付、寄付をしたことは関係資料にあるが、行為の背景には当時の島の寒村では、その多くが収穫ぎするしかなく、彼も辛苦のうえ成功り名を遂げたことを抜きには語れない。ではその誰もが、艱難辛苦の末に成功を勝ち取り、そう言った晩には故郷に報恩するかと言えば、どうなのだろう。

人の価値は、人生において幸運や不幸との出会いの際、いかに振る舞うかにかかるといえる。そういう意味では初太郎は、その性格も含め幸運な麒麟児だったのではないかな。



▲初太郎を助けて活躍した弟、為松の記念碑を読む村上貢氏

そういう先輩の一人が、過日(本年3月6日)世を去られた。日本海軍史研究家であり、郷土史家、弓削商船高専名誉教授、岡山商科大学名誉教授の、故村上貢氏(98歳)である。村上氏は、生身出身で旧日本海員組合をつくるに功あり、かつ二代目組合長として戦前の海員組合を牽引した濱田國太郎を、改めて世に知らしめられた方である。また残存資料の極めて少ないこの田坂初太郎の評伝もまとめられている。

「海父・濱田國太郎」「しまなみ人物伝」「幕末漂流伝」「女傑・麻生イト伝」ほか氏の著書は、多数だが、濱田國太郎を顕彰する会の代表も務められた。筆者は会の事務方を務めさせていたにている。縁もあり、改めてこの場をお借りし、謹んで哀悼の意を表します。(つづく) 文責・弓削・平山和昭



桜まつり

今年の桜まつりは3月25日から4月9日までの2週間。メインイベントは4月2日、ポスターにはそうある。以前は1週間で終わった桜まつり。昨今は「まつり」の言葉にひかれて他所ナンバーが日時おかまいなしにやって来て岩城島を徘徊。今のところ事故こそおきてないが、いつおきてもおかしくない。期間中は交通整理の人手も要るが、実は岩城島在住者は危なくてお花見にも行けない状態ではないのか？。私もここ数年は山道での車の事を考えるとは行かれない！。「まつり」表示の期間が長過ぎるのではないのか？。

船は広島県側のフェリー利用。観光バスでは参加費がいる。こんな、島や島民が潤わないイベントを誰が喜びますか？。そう考えるのは私だけかな？。

(町内某&某)

どうしたら暮らしがよくなるか 上昇会の結成を望む(1) 夏坂周司(岩城)

平素のご精励ご苦勞様です。この度、民主主義に関するマスコミの報道が目につきましたので、一筆申し上げたくお手紙を差し上げました。

先日、神奈川県大井町の町議会議員選挙で、立候補者ゼロと報道されていました。過疎自治体における議員確保と議会制民主主義を考えさせられました。また、先日ある番組で、寺島実郎氏が「親族政治家」を批判して、ネット社会の実情に鑑みて「直接民主主義も検討されている」旨の発言をされていました。さらにある新聞で、佐伯啓忠氏が「討議制民主主義に失望した国民は、即断即決の政治家を望む」ことでポピュリズムが台頭し、

その象徴としてトランプ氏の登場がある。「民主主義はそれ自体がはらむ脆弱性で自壊する」と論じていました。それでは、広く意見を求め、衆

Opinion オピニオン オフザピープル 読者投稿欄

議によって最良の結論に近づけるためにどうしたらいいか。直接民主主義は時間と経費が掛かりすぎる。代議制民主主義は議員任せになる。民主主義の眼目は市民参加だと思います。

市民一人ひとりが参加して、人任せでない社会にする。そのことで民主主義が進化しその優位性が増していく。しかし、市民は面倒くさいことが嫌いである。討議に慣れていないし政治的知識も乏しく、第一に時間を取られたくない。それを補うために討議のプロである議員が必要になる。

そこで、小生が提案する「上昇会」【※注1】を結合させてはどうだろうか考えました。

上昇会では、一般市民は上に向けて提案するだけ、いわば言いたい放題で議決はしない、議決は議員に任せる。ただし、市町村や国の各段階の議会では「上昇会」から出された提案の討議をすることを保障する。そうすることで住民の政治への関心と参加意識が高まることを期待できます。(つづく)

【※注1】「上昇会」とは、住民の声を届けるための住民組織というイメージ。詳しくは、ワトスン第13号「上島町発の、住民自治を目指す上昇会」という仕組みを」という本投稿者の記事をご参照ください。編集係

これまでの個人情報保護制度は、個人情報を取扱う主体ごとに「個人情報保護法」「行政機関個人情報保護法」「独立行政法人等個人情報保護法」の3本の法律と共に地方公共団体ごとに個人情報保護条例が定められていた。ところが令和3年5月に公布された「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」によって国や地方におけるデジタル業務の改革の進展や、地域の枠を超えたデータ利用の活発化にむけ公共団体ごとの不均衡・不整合を解消するために個人情報保護法等の3本の法律が、新たに「個人情報保護法」として統合され、地方公共団体

等における個人情報の取扱い等に関する共通ルールが制定された。改正後の個人情報保護法では、議会については国会や裁判所が法による個人情報の取扱いに係る規律の対象となっていないので整合性を図るため、個人情報保護法の適用対象外となった。そこで議会は独自の個人情報保護条例を制定する必要がある。この条例の概要は、議会における情報の適切な取扱いを定めるとともに、議会が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求め

条例制定への議員の姿勢に疑問多し

これではよいのか上島町議会・議会個人情報保護条例

個人の権利と、議会の事務の適正な運営を図りつつ個人の権利を保護することを目的とするもので(条例案・第1条)第57条)、その案が議会事務局によって作成された。改正前の条例には罰則規定はなかったが、改正後は罰則規定が義務付けられ、条例案第53条)第57条には、正当な理由なく議会が保有する個人情報を外



アクアの森植林交流会へ参加

3月12日、コロナ禍で中止中だったアクアの森植林交流会が4年ぶりに開催されました。前日の11日は東日本大震災から数えて12年目でした。

皆さん覚えていますか。忘れもしません。12年前の大震災の日から一週間後が、アクアの森植林交流会でした。



▲広島県福富町、「湖畔の里福富」の、上島町植林エリアで今年はツツジを20株ほど植えた

の水。詳しくは弓削島の友愛広場で見聞できます。その場所は弓削港の駐車場の北側にあります。「水の一滴は血の一滴」。大切に使用しましょう。かつて、「石油の一滴は血の一滴」の時代もありましたが、そんな時代はもたつてはなりません。世界では今なおこの様な紛争があり無念です。

あれから12年。震災の日が近づくとテレビ、マスコミの記事が当時を思い出させます。今回の交流で一番感じたことは、今まで弓削から参加していた旧顔が少なく、岩城、生名の皆さんの参加が目立ちました。長年参加した者としては、寂しくもあり、また新しい顔触れには嬉しい思いでした。県を越えて脈々と届く友愛

皆さん、アクアの森は海とは違う湖畔の景色です。潮の香りのない空気を、家族皆で満喫するのも楽しいのではないでしようか。福富町で植林のお世話していただいた「すいすい倶楽部」の方がおっしゃいました。「弓削島の住民の方から、水が美味しい！の一言が交流会の始まりでした。2001年、第1回から今日があります。」帰路その言葉に、山と海との感謝の絆交流を続けねばな、と思いました。

当日は好天に恵まれ、以前植えた桜の苗木も立派に成長し、ちらちら歓迎の花が咲きそめていました。改めて今日一日をありがとう。(弓削 浜村 寿)

記事訂正(前号分)

ワトスン13号A面巻頭記事の加藤さんとは、正しくは佐藤さんです。訂正いたします。◎編集係では、引き続き読者の投稿を募集中です。文字数は500字前後でお願いします。(ワトスン編集係)



2023年(令和5年)
5月 第15号

発行:上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下町515
NPO法人・類れるふるとネット気付
連絡先 TEL 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

- 目的
- ①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
- 活動
- ②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探知し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
- ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
- 入会/退会
- ④入退会には特に条件を定めない。

愛媛県議会議員選挙。終わってみれば平均投票率 38.6%。半分以上の人が自分の意思表示をせず今の政治を容認したことになります。愛媛県議会議員の定数は47人。うち女性議員は前回から1名減って4名になりました。1割にも達していません。

今の政治へのあきらめは、未来へのあきらめ

法律「政治分野における男女共同参画推進法」があるにもかかわらず、各政党の候補

者は均等どころか偏った状態のままです。全国的に見ても女性活躍などと掲げていながら現政権の自民党の女性比率はどの政党よりも低い。法律があっても守らねば何の意味もありません。これでは地方議会に女性が増えることは難しい。

ニュースを見ればどの選挙区も前回を下回る投票率で、過半数にも達してないのに多くの候補者が有権者の信認を得たとして議員となつています。中にはセクハラで問題視された方も無投票当選。何のための選挙なのかわからない状況です。

ある調査によれば、親が選挙に行く家庭の子は選挙に行く率が高いそうです。ほかに、子ども議会を続けている自治体では、子ども議会を経験した子が故郷に戻って議員に立候補したり、地元を盛り上げる取り組みをしたりして

話題になっていきます。このことから、普段の生活の中で、いかに政治に触れ、子どもたちには、政治に触れさせていくかが、とても大切であると感じます。上島町というならCATVの議会放送を観る、議会の傍聴に行く、政策に興味のあることを話題にする、調べてみる、など出来ることはいろいろありそうです。

選挙に行くということ、政治に対して自分の態度を表明すること。自分一人では何も変わらないと思つていませんか。一人の持つ力は小さく感じるかもしれませんが、その小さな一人からすべてが始まります。政治をあきらめることは、未来をあきらめることより幸せな未来を次の世代に渡すためにも、普段から政治に触れ、自分の意思を表明することが大切なのではないでしょうか。(岩城 大西幸江)

進まぬ国指定遺跡の案内板製作

令和3年10月11日付け官報号外第230号で、上島町に在る「弓削島荘遺跡」が国の史跡に指定されました。弓削島は中世の塩の生産を特徴とする荘園だったことから、多くの研究者の学問の対象となり、瀬戸内海を代表する製塩地として注目され、今から42年前の昭和56年7月には浩宮徳仁親王殿下(今上天皇)が、中世の塩の荘園制度及び瀬戸内海の海上交通の研究のために来島されました。この出来事は弓削島民の多くの方々の記憶に鮮明に残っています。

我々が住む足元に中世荘園時代の塩作りの遺跡が現存し、その塩を年貢として都に納めていた証拠として東寺百合文書がある、遺跡と証拠文献双方が共存する史跡は、国内でも稀有な事例です。

町はこの歴史的背景と経緯を充分認識しているはずにも関わらず、国史跡指定から1年5ヶ月が経過。その間、都合3回も議会一般質問で、「弓削島荘遺跡」7ヶ所の史跡周囲ルート案内板及び史跡範囲等を示す案内板の設置を早急に実施するよう要望してきましたが、関係省庁等との協議・調整に時間を要したとの理由で、やっと今年3月末の設置になったとの答弁がありました。



▲誤解を招く看板

4月2日、期待して案内板設置場所に行つて見て驚きました。サイズが縦45cm、横60cmの木製の看板に寺院名が記されQRコードが付されている。一見して史跡の性質はわか

らない。近くにある他の案内板と比較しても小さく見劣りがし、これが「弓削島荘遺跡」の案内板かと思うと、情けなさが先に立ちました。

QRコードの利用と効果にも疑問があり担当課に確認すると「仮の看板だ」との返答でまたも驚くやら呆れるやら。更に取り急ぎ、策定中の保存活用計画及び整備基本計画等に基づき、関係省庁等との協議・調整のうえ、本格的な案内板は、令和5年度又は令和6年度に設置がずれ込むという。これが俗に言う「お役所仕事」か?です。

今になっての保存活用計画や整備基本計画等の策定では、まさに泥縄のこの1年5ヶ月何をやっていったのか?

「弓削島荘遺跡」を地域の歴史・文化遺産として特化、個性豊かな上島町独自の観光の目玉へと展開し、活発な観光振興に務めることが急務であろうに、と思うところだ。

(弓削 濱田 高嘉)

旧弓削商船学校 昔物語り その2



— 学校存続活動 —
弓削商船高専を上島町に
存続させる会

学校創設の背景には明治政府の急速な富国強兵策もあった。とはいえ設立後の学校存続は決して平坦な道だったわけではない。そのことは、1960年(昭和36)、学校創立六十周年記念式典で、当時の弓削町長、末永等氏が祝辞の中に述べた次のような文言に現れている。

「海運界も景気の周期的うねりをくり返してきました。うねりの谷に落ちた際、毎々問題になりましたのは、学校の統合整理のことでありました。本校はその都度、学校当事者、卒業生並びに地元先輩達よく協力してこれが留置存続に多大の努力を払われましたため、今日を確保し得ました。」

これは1950年(昭和25)にも、別の理由から商船学校の存続危機があったことを念頭に置いて言葉であったのであろう。時代は下り、2006年(平成18)、今度は15歳人口の減少や国の財政難を理由に、全国的な高専の再編を視野に国立高専機構から、瀬戸内3商船高専にも統合再編を検討するよう要請が出された。該当3校が統合再編委員会を立ち上げるのは時間の問題だった。それを受け、いち早く上島町では「弓削商船高専を上島町へ存続させる会」が結成された。構成員は木下元町長をはじめ同窓会長、町議会議員、町内各種団体の長、町内企業の代表など多士済々。ほぼ全町上げての取り組みであった。



こういう動きが起きたのは瀬戸内3校では弓削校だけで新聞ニュースにもなり、高専機構には驚きをもって注目された。

その後全国的には何校かが統合されたものの、2009年(平成21)自民党から民主党への政権交代があるに及び、瀬戸内3商船高専の統合問題は棚上げ的となり、今日に至っている。

地域になぜ学校が必要なのかも含め、存続させるにはなにが大切なのか。我々は過去の一連の顛末から学ぶことは多そうである。文責・弓削・平山和昭

最近気になること



他人事に干渉しないで下さい

町民の皆様、行政の取り組みや子供たちの教育現場、地域の動きを知っていますか？もし問題があったら、どこまで知恵や力を貸してあげられますか？

子育てって、一昔前は地域の方にのみ見守っていただいていたような気がします。また必要だとも思います。地域の人でも子育て現場に興味を持って欲しい。また、地区懇談会とか何かの寄り、集まりとかに、自分にあんまり関係ないから、どうせ言うても変わらんから、とか思っていないませんか？私自身でも心当たりがあります。反省です。いろいろな事をひっくるめて、より住みやすい上島町になるように、行政や行事に出向いてみましましょう。ご近所の事を気にかけてみませんか？出かけるとなにかしら気になる事や良い結果がみえてくる事があります。(町内某&某)

桜の花がひらひら舞い散る季節となり、ようやくコロナトンネルの出口が見えてきました。過日・テレビのニュース番組で、飲食店業界がコロナ禍(三密回避)で厳しい営業に喘ぐなか、東京の某飲食店がテイクアウト営業を始めたのが放映されました。みると受け答える男性が弓削島のN君でした。家内に「N君がテレビに出てるぞ、早く、早く、早く。」

三年余りの暗いトンネル。マスク着用しながらの厳しい営業だったと思います。様々な業界が同様に苦しむなか、ちかごろ模様変わったのがお葬式。以前なら葬儀案内の看板等で〇〇さんが亡くなったことを知り、自分のお付き合いを含め、故人との最後の

コロナの制約が解け、葬儀が以前の様に戻るのかどうかはわかりませんが、町の広報誌で誰々さんが逝ったことを知り、驚くのは私だけでしょうか？毎月の死亡と誕生を差し引くと10人以上の差。むろん死亡のほうが多い。年間1000人



お別れをするのが、ごく当たり前でした。この三年間余り、殆ど葬儀の告知を視ず、ひっそりと親族のみでの葬儀のありさまです。まれにある案内では、供花、香典の類は辞退、とある。以前はお互いの様の村香典があり、それをもって旅立つ故人のお別れに合掌をしたもの

以上の差があるこの生と死の現実。残念としか言いようがないにしても、侍ジャパンの対メキシコ戦の、村上様の逆転サヨナラは、もう野球の世界だけのことなんではようかね？

コロナと言え、我が青春時代には、尾道の久保町にコロナというお店があり、繁盛していました。あれから60余年、再びコロナという名を聞くとは思いませんでした。ところで先日岩城桜祭りに行き、長江港の待合所ですし、三密回避のポスターを見て、マスクの要らない日常に戻れる安堵を覚えました。マスクを外し笑顔で挨拶。笑顔の日常が戻ることを切に願うばかりです。(弓削 浜村 寿)

コロナで変わったあれやこれ



地産品無人販売所 「佐島しまのひろば」での怪事件はつづく

ある日は1円とか5円、10円で持つて行かれていた。無人販売は別にお金儲けが目的ではないです。お互いの良心を信じあつた上での一種の助けあい。そんなことが続くのが嫌気がさし、出品をやめる方もおられます。やむを得ず監視カメラ、そういう万引行為をしないよう注意喚起の張り紙などしましたが、そういうことをするさもししい心根、淋しいとか悲しいですね。(佐島 国延隆彦)

上島町佐島の旧JA売店あとを『島のひろば』として、お店の無くなった佐島で地産品無人販売所を始めたのは、2016年6月から2018年5月まで「島おこし協力隊員」として活動してきた佐藤仁美さんでした。その後佐藤さんは協力を卒業され、松山で「おいし日本酒と出会うお店」をコンセプトに、全国の日本酒と日本酒に合わせた料理を提供。全国の地酒を常時20種ご用意という「和酒・さとう」とい

う居酒屋を開店されています。商売繁盛を祈るばかりですが、佐藤さんの手掛けたこの『島のひろば』無人販売所では最近売れた品数と代金との帳尻が合わない怪が発生中です。地元の農家さんや野菜等を栽培されている方々が丁寧に商品として出品。無人ですので代金は備え付けの料金箱、というシステムです。料金の基本は1パッケージ@1000円。廉価です。ところが一日の終りに料金回収にいきますと、なんといくつかは無料で、

どうしたら暮らしがよくなるか 上昇会の結成を望む(2)夏坂周司 (岩城)

議員のなり手不足の問題をどうするか。第一に立候補のハードルを下げる。例えば、立候補への苦渋を減らし、落選失職の不安などを軽減するためにグループ立候補を許容する。議員資格を制限する条件を下げる。死票をなくするためには比例代表制として公平に票を配分する。健全な議会選挙は大物利権議員の威力をそぐ効果もあり、議論を緊張させて行政のイェスマンの無気力な議会を少なくする。また、オンラインを活用して移動時間を減らし、資料準備などの時間を確保する。オンラインの活用は、子育てや家事負担

が大きい女性議員を増やす効果がある。上昇会などで提案の機会が増えた市民は、自分が提案した案件の行方に関心を持ち、支持した候補者を監視できて、

オピニオン オブザピープル 読者投稿欄

投票行動を押し上げる。行政機関も、議会参観などの啓発的催しだけでなく、「市民塾」とか市民の利益を増やすための市民参加型組織を創って、民主主義の成

長を図る。直接民主主義政治は魅力的で、ネットやオンラインを駆使すれば実現は不可能ではない。ただし、なりすまし防止やプライバシーの保護などセキュリティの万全を期し、誹謗中傷や匿名など倫理的課題の克服を図る。直接民主主義は「自由で公平、安心な社会」を築くために希望が湧く方法だと思います。また、民主主義自身は「悪法も法なり」といわれる通り、いくつもの矛盾を抱えています。民主主義の持つ脆弱性は常に点検されなくてはなりません。いかなる政治体制も、常に監視と点検を繰り返さないと腐敗していきます。自己批判を怠りなく努めて参りたいと思います。よいお年をお迎えください。(2022. 12. 29)

月例会から

開催日時：3月25日(土) 14時〜16時

- 場所：弓削消防庁舎2階
内容：以下の件につき意見交換
①機関紙ワトソンの記事校正
②魚島さざなみ留学、弓削高校島親制度の課題。
③最近の葬儀形態の変化など。
④一般廃棄物処理つき処理場での受付時間と問題点ほか。

●ワトソン記事について
A面「旧弓削商船学校昔物語2」は今号で一応終了です。

これまで旧弓削商船学校設立功労者につき、簡単に書いてきましたが、最後に学校が現在存続し得ている経緯についても少しだけ記しておきました。一方、町内魚島小中学校では、町外から生徒募集をして生徒数を確保しようという「さざなみ留学」事業が4月から開始されました。なぜ地域に学校が必要なのか。存続させるには何が大事なのか。町民は何をしなればならないか。それらの意味を、改めてみんなで考えていただきたいものです。(平山)

★編集係では引き続き読者の投稿を募集中です。文字数は500字前後でお願いします。(ワトソン編集係)



2023年(令和5年)
6月 第16号

発行: 上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下弓削515
NPO法人・頼れるふるさとネット寄付
連絡先 Tel. 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yuguru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

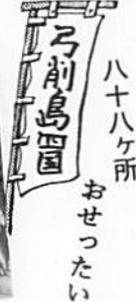
- 目的
①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
- 活動
②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
- ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
- 入会/退会
④入退会には特に条件を定めない。

桜の舞い散る4月第3日曜日、晴天に恵まれ4年振りの弓削島四国(おせつたい)が、大勢の人でにぎやかに再開されました。岩城橋も開通し、その方面からも町民の方々が訪れた事と思います。

一番札所は久司浦の東泉寺。このお寺さんはまたお薬師さんで親しまれ、ふるくは参道に露店が途切れることなく並んでいました。島の人は殆どは徒歩でしたが、別に交通手段として下弓削新開(役場近く)から長宝丸と言う船が行き通い、またY商店はラムネや駄菓子を買って八車に乗せ、引いて売りに出掛けた時期もありました。

一番札所からは、皇太子殿下(現天皇陛下)の石碑のある傳十峠(地名)から大谷地区、狩尾地区へと続きます。途中に百貫島灯台の良く見える見晴らしの良い場所があり、この度荘園遺跡に指定された看板が新しく設置されています。

狩尾から下弓削に入ると、あちこちに島四国の赤い幟が目印の札所があります。70年前はお審銭代わりにお米も使いました。島四国後に小学校では遠足があり、「おせつたい」でもらったお菓子を弁当箱に詰め、友達とそれを食べながら談笑した記憶があります。



お寺さんのおせつたいは、丸いアルミのお皿にご飯と古漬沢庵2切れが定番。冬場が美味しい沢庵を4月に食べるので酸味が強く、子供は残したものです。今では懐かしい味として自分の舌は忘れていません。ご飯のおせつたいは人手が大勢要るので、今はお目にかかるところはありません。同時に札所の跡継ぎも居なくなり無人の札所も。数に限りがあるおせつたいの品が無くなれば「こめんさい」の札所もあります。昔からそれぞれの島でのおせつたい文化があったかと思えますが、今後上島町の伝統行事として、秋祭り同様、各島の春のイベントとして保存することを切に望むと同時に、無人の札所は興味のある方に運営を開放し、末長い島四国行事であって欲しいものです。来春もござれですね。

(弓削 浜村寿)
▲画像は弓削島四国・第65番札所三角寺(高道大師堂)にての風景

国指定遺跡の捉え方

どういふ遺跡なのかを地域住民と共有へ

ワトスン第15号に「進まぬ国指定遺跡の案内板制作」という記事があった。

「弓削島荘遺跡」については町のインターネット・ホームページに「今後、上島町は中跡弓削島荘遺跡の保存活用計画を策定し、町民の皆さまのご理解とご協力のもと、本遺跡の計画的な保護・活用を進めていきます。」と書かれているのだが、この「計画的な保護・活用」というのはどういふ行為を指しているのだろうか。

■アンタツチャブルな環境

先のワトスン15号の記事では「弓削島荘遺跡とはどういふのか」という正しい情報が、現在の告知方法では十分町民に伝わらないのではないかと、この危惧から書かれたものだと思われるが、国指定遺跡ともなれば中跡に影響を及ぼす行為はすべて現状変更の対象となり、国への報告

義務も出てくるのではないのか。それは安易に史跡内の事物をいじれないということなので、その認識が官・民に共有されていないと困った事態もおきかねない。そんな事例が昨年12月、奈良県下北山村で起きた。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成遺産で、村を通る国史跡「大峯奥駈道(おみねおくがけみち)」沿いにある石垣が崩れたので、村と村民が無許可で修復したところ、法に抵触してしまった、という事件だ。

■善意がアダになる場合も

文化財保護法では、国史跡の現状変更は文化庁の許可を得ることになっている。ところが、村は「石垣は史跡の範囲外」との認識だったらしい。無許可で沿いの石垣が崩れ、散乱すれば見栄えも悪く、観光客の安全上問題がある。なので自分たちの手で修復しようという善意の行動であったの

だろう。だが法がある以上、仮に善意でも違法行為になりかねない。

石垣が遺跡の一部とは思わなかったというところで、いかに正しい情報を、早く地域住民に知らせておくか、が大事ということになる。

■弓削島荘遺跡の特徴とは

弓削島荘遺跡は、個々の建造物ではなく、エリア一帯が遺跡とされ、そこに古い建造物があるという構造だ。なおさら、しらずに町民が現状変更をしてしまう危険性ははらんでいる。国指定史跡なんて、地域はそれだけの責任を負うというところなのだが、はて官民共々それが理解されているのだろうか?

国指定史跡になることはたしかに観光資源を手に入れることではあるが、そのメリット、デメリットをしっかりと地域住民は共有せねばなるまい。

(弓削 平山和昭)

海事史研究で日本の近代化を照らした
村上貢先生
その業績を紹介



金谷芳寛(郷土史)
岡山県瀬戸内市牛窓

令和五年三月五日、桜のつばみが膨らみ始め、春めいてきたこの日、生名島在住の村上貢先生が天寿を全うされ、亡くなられました。九十八歳でした。先生は上島町域の郷土史のみならず、芸予地域の海に関する歴史を幅広くご研究なされ、おり、地域の歴史に大変ご造詣が深く、生き字引のような方でもありました。また、幕末期の漂流民に関わるご研究は、戦後の「海事史」研究分野の確立にもご貢献されておられます。先生は、大正十五年のお生まれ、戦時中は学徒動員という苦渋の時代を体験され、昭和二十五年に京都大学文学部史学科を卒業されました。岐阜県多治見高等学校の教諭としてご赴任ののち、昭和四十二年国立弓削商船高等専門学校助教(のち教授)になられます。



▲新刊書を手にする在りし日の村上貢氏。(左) 2015年夏

ご退官後、平成二年から十二年間、岡山商科大学の経済学部教授として赴任されました。私はその五年後、平成七年四月より、四年間学生として授業を受け、日本史の他「教養演習」などの授業で、深く日本史研究に関する知識や方法論などをご指導頂くことになりました。私は、先生の商船学校時代以前はほとんど知りませんが、先生のご業績は、多治見時代、商船学校時代、岡山時代と三つに大きく分かれ、かなりの量になります。専門的な研究論文ともなると、なかなか手に取る機会もありません。地元町民の方でも知らない方もおられるかと思えます。先生は、一般向けの著書も何冊も刊行されておられます。次号より図書館などで手に取って読むことが出来る刊行図書は何冊か紹介しながら、先生のご業績を振り返りたいと思います。(つづく)

まずは議論が尽くされているのか？

弓削高 学生茶

現在、県立弓削高校存続の為の施策として学生寮の建設が進んでいます。唯一我が町にある県立高校を存続させるか、なりゆきに任せるか、と問えば、多くの町民は存続させたいと答えるでしょう。ではそれは、高校を抱える様な現状を知ったうえで答えなのではないのか？。少なくとも予算編成時の議会などで細かく議論され、行政からしっかりと説明されたようには思えません。

県立高校統廃合の検討基準は、新規入学者20名未満が3年連続と募集停止。平成25年度の弓削高校入学者は13名でした。その危機に直面し、学校、地域が一体となり「弓削高等学校振興対策協議会」が設置され、存続に向けて動き始めました。そして宮脇町政時の平成29年度から「弓削高校魅力化プロジェクト」がスタートし、公営塾が開講。新規入学者も増加に転じ毎年30名前後を維



▶ 新築に向け旧下弓削中央公民館の解体作業

持、ひとまず危機は回避されました。だが、少子化は早いスピードで進んでおり、令和8年の町内の入学予想数は9名で、町内以外から12名以上の生徒を確保しなければならぬ状況となり次なる施策として生徒の全国募集を開始。しかし全

料自給率は37%だという。外国に行く日本がよくわかる。イギリスは島国だが、スコットランドに高地があるだけで山らしい山が無く、ガッチリとした台地の国であり、地震も無い。ドイツは8日間大型バスで走ったが、一度もトンネルを通らなかつた。日本では1時間も走ればトンネルにぶつかるとは。フランスでは花のバリを離れ1時間も走ると緑の耕作地や牧場が現れた。ガイドが「この国は農業国で食料自給率は100%ですよ」と言った。ドイツもフランスも国土は広く地震もない。日本の国土は変化に富んで素晴らしいが、地震多発国である。37%の食料自給率でいいのだろうか。

世界に劣る日本の食料自給率

オピニオン オフザピープル 読者投稿欄



婆さんの言いたい放題

すれば大感激だ！ということ、日本は島国であつて、国土の真ん中に山が7割弱を占めていて、その周りの3割強の土地に人間がひしめいているのだ。先人たちは開墾をして耕作地を増やしてきたが、それが今や耕作放棄地となり、日本の食

国は農業国で食料自給率は100%ですよ」と言った。ドイツもフランスも国土は広く地震もない。日本の国土は変化に富んで素晴らしいが、地震多発国である。37%の食料自給率でいいのだろうか。

(早川和江 東京)



① やつと5類 長年居座ったコロナもこの5月からインフルエンザ並み。お世話になったマスクだが、手元にはだいたい残っている。高級な絹のいただきものや、手作りのもの、使い捨てのもの、まだまだたくさんある。あのアレノマスクだって、未開封でコレクションしているのだが、いつかオークションで良い値がつくかしら？。それとも歴史遺産になるのかな？。

② よいよ6月 6月4日は虫歯予防デー。いくら気をつけていても毎年虫歯が発見され、安くない治療費を歯医者様へ納金する。使っている歯ブラシ2本を交互に用いている。使い方は奇数日用は偶数日用に分けて、毎朝「今日は何日？」と考えて選ぶ。何日かな？とは思いますが、やらないよりはましかな。(町内某&某)

国からの入学希望者はまだまだ乏しく、いまのところ毎年の入学者は2〜3名にとどまっています。そんな中で定員30名の学生寮の建設は何の根拠に基づいているのか。まさか希望的観測ではないでしょう。ましてや、やってみれば分からない、やっただけダメだったで済まされるほど6億円近いという金額は小さなものではありません。何時も聞く言葉ですが、「このお金の多くは国や県から出るものでわが町の実際の支出は大したことありません」。実は大事なものはそこではな

新型コロナウイルス感染症対策5類移行後 求められる町による救護体制の確立

5月8日、新型コロナウイルス感染症が2類から5類になり、町からは防災メールで8日以降は健康推進課が担当部署になる旨の連絡がありました。しかし分類が変わっても感染力や症状、後遺症の有無など今までと変わらざるを得ないわけではありませぬ。防災メールで、「コロナ対応の担当部署が変わったので、わからないことがあればそこへ電話するように」というお知らせですませられるはなしでしょうか？

く、「これを建設すると運営、維持管理に毎年これだけの費用が必要」との説明がなされ、その金額につき町民が理解してから進めないと、先々その維持費がわが町財政の首を絞めていくことになり、高齢者や子供たちの為に使われるお金が減ることも覚悟せねばなりません。だから反対だと言っているのではありません。現状を正しく知り、事実に基づき議会でも議論を重ね、町民が納得できる方策をとるべきだということなのです。(生名 濱田和保)

共助もかなわなかつたとき、公助が働かなかつたら何のため行政なのでしょうか。確かに今までは国が決めた対策・予防をしてきましたが、5類に移行した今は各個人や各自治体に任されています。県の保健所は出先の保健所と自治体が相談してやってくださいます。そうであるならば今後の町民の最後の命を救う皆は、各自治体の対策によって違ってくることにあります。病氣は誰の身にも起こります。その時必ず助けられる人が近くにいないと限りません。ならば選択肢の一つとして行政が助けるプログラムをつくっておくべきではないでしょうか。コロナに限らず行政は住民福祉の向上のために存在する、そういう感覚を住民も行政も持たねば、安心して暮らせる地域とはとても言えません。(岩城 大西幸江)

月例会から 開催日時：4月22日(土) 14時〜16時 場所：弓削消防庁舎2階 内容：以下の件につき意見交換。①機関紙ワトスンの記事校正。②コロナ5類移行に伴う一人暮らし高齢者等のセーフティネットの必要性について。③魚島ささなみ留学。魚島丸新船建造に関すること、ほか。

★ワトスン記事について 郷土史家であり海軍史研究家でもあった上島町生名の村上貢氏が、本年3月、物故されたのをうけ、氏の功績を、岡山県瀬戸内町牛窓の金谷芳寛氏に連載でお願ひしました。ワトスン編集係では読者の投稿を募集。文字数は500字前後でよろしく。(編集係)



2023年(令和5年)
7月 第17号

発行:上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下弓削515
NPO法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 Tel. 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

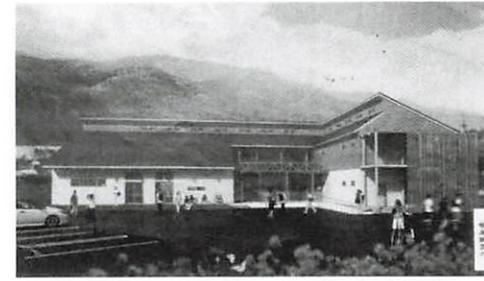
自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

- 目的
 - ①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
 - ②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
 - ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
- 活動
- 入会/退会
- ④入退会には特に条件を定めない。

現在の議員のすべてとは言わないが町が提案する議案を、中身をよく理解もせず、賛成したり反対したりしているらしい議員の多い事に基だ疑問を感じる。議員の役割を本当に理解しているのだろうか？

し、住民の立場に立つて適正かどうか自分の支持者を代表して意見を述べ結論を出しているのだろうか？ 議会はただの追認機関ではないはずだ。この間の弓削高等学校の学寮整備工事の一般競争入札の承認の臨時議会を見て町民は何も疑問を感じないのだらうか？

議会審議 議員は何を見ているの？



難島留学(県立弓削高)学生寮の完成予想図

うか？ 6億円近い、町にとつて決して簡単な額でない案件が、金額の中身も充分明らかにされていないにもかかわらず予算を通し、今回やはり詳細な中身が示されてもいないのに、不可思議な入札結果を承認する臨時議会が開かれ、賛成多数で議決した。いや金額が適正かどうかも精査したし、これから先の収支の展望も理解している。」と言う議員がいたら、町から詳しい中身が示されてもいないのにどうやって出来たのか教えてほしいのです。昨年、世間を揺るがす町職員による入札情報の漏洩と言う

大変な事件があり、町長は「今後このような不正が起きないように入札制度を見直す。」とし、今回は前もって予定価格を公表したと言う。しかしながら一社以外に応札が無かったという事でその一社に決定し、すでに仮契約を結んだという。制度を見直したはずなのに落札率は予定価格の50%でした。

水回りもそろった立派な住宅を3千万円で10軒建てても3億円。30人くらい余裕で入居できますよ。集合住宅のような木造2階建ての建物があるようにしたら6億円近くになるのだろうか？ ちゃんとした説明が無かったと聞きます。その不景気な時、こんなおもしろい仕事、どの業者もやりたくてしようがないはずでは？ なのに入札参加が1社だけとは？ 何処か不自然さを感じます。まさに、賛成した議員は何を見ているの？ です。

私も弓削高等学校の存続の為に町が出来る限りのことをするのは大賛成です。でも… (生名 濱田和保)

サイレンの音が鳴り響き訓練開始。訓練と分かっていてもサイレン音は一瞬緊張が走りまです。私が住む地区の避難場所は近場の高台にあるお寺さん。5年度は、今迄の避難場所からの変更があったせいか、遠方からの住民の顔が目立ちました。例年に無い大勢の避難者にお墓も驚いたことでしょう。避難者の点呼確認終了後、責任者が、せとち交流館で災害時応急処置講習 自衛隊による緊急時炊きだし訓練(カレー試食)があることを告げ、参加を促し解散。避難訓練はこれにて終了！でした。

令和5年度 防災訓練に想う



に区長、地区長、地区委員がいます。区長組織のなかに自主防災組織があるので、これからは点呼・確認後、そのまま解散せず、各地区が独自に、その地区に応じた防災訓練を実施する

よう、各区区長さんは動いていただけないものではないでしょうか。【自分達の住む地区地域は自分達が守る】という近助精神、地区防災組織の充実を切に望みます。島同士の合併自治体で

写真:土生地区防災訓練風景

海軍史研究で日本の近代化を照らした 村上貢先生 その業績を紹介

金谷芳寛(編者) 岡山県瀬戸内市生宅



貢先生は、岐阜県多治見高等学校の教諭としてご赴任、その後土岐商業高等学校を歴任されました。その頃の先生の様子については、ほとんどお話を伺ったことがないので、岡山時代の教え子の私が知るよしもありませんが、当時のご研究成果をまとめた著書がありまして、昭和51年(1976)に名古屋の風媒社から「自由党激化事件と小池勇」が出版されています。末尾の参考文献を一覧を見てみますと、多忙な校務の中に「岐阜史学」や「歴史評論」などに多数論文を寄稿されています。名古屋大学の久保利謙教授(日本近代史)の勧めもあり、刊行されたようです。



「自由党激化事件と小池勇」村上貢・著

論文テーマの小池勇という人物は、多治見市池田の豪農の出身で、小学校の教師でしたが、自由民権運動に身を投じ、のちに郷里の県議会議員やその議長を務めている地方政治家です。先生は小池家に埋もれていた未刊行の自叙伝などの史料から、その活動や功績を追っています。本の内容は、主に史料の翻刻と整理解説で、先生の分析や見解を付するというもの

です。自由民権運動は、明治10年(1877)代から日本最初の国民運動として始まりますが、17年代には各地で激化し、日本各地で政府要人などを襲撃しようというような暴力的過激な事件が頻発するようになります。小池が関係した明治19年(1886)の「静岡事件」などがその典型的な事例で、貢先生は、小池の残した資料の中から、歴史教科書で有名な明治17年(1884)の「加波山事件」関係者と接触していたことも突き止められ、当時の潮流の中で、「一斉蜂起論」もあつたことを指摘されます。(つづく)

子育て支援って何だろ

…頑張れ子供達…

休みの日に野球ごっこをしている子供達をよく見かけます。上は中学生から下は小学中学年ぐらの子供たち。ほんわりとする反面ドキドキ！。

やっている所は車がよく行き交う見通しの悪い私有地なんです。本人たちはボールが飛んでもなんのその。空き地や広場で遊んでたら怒られる事があるとか。公園にも、たいがい子供達がいまいます。でも、困った事に砂場には猫の排泄物があります。学校帰りの低学年は2列3列で道幅半分は占領して良いものか、としばしノロノロ運転。気付けてくれたらラッキーです。雨上がりの日は傘を振り回してる子もいます。子供だからと思ふべきか、子供だからこそ！と思ふべきか？

あぶない！という事の子供達の理解力はかなりの個人差があるのではないのかとは見ていて実感します。

子育て支援はお金だけで解決する事なんでしょうか？。支援金で命を守ってあげられるのか？。昔と今では随分変わって当たり前だとおもいますが、疑問に思うところはあります。親が躰が見守る部分。それが三角形じゃなく歪な形になっているように思います。

(岩城・山本曜子)

公に行われる会議は、私たちの生活に直接影響があります。行政運営のために住民合意を得ることを目的として、多くの審議会、協議会、委員会がありますが、いくつ知っていますか。メンバーはだれか知っていますか。会議の内容を知っていますか。全く知らないことも多いのではないのでしょうか。

先日開催された「子ども子育て会議」。今回は傍聴させていただきましたが、今まで傍聴したいと申し出ても、断られていました。傍聴ができないということ、会議がいつ行われているのか一般には知らされません。何が決まったのかも、どんな話し合いがなされたのかもわかりません。傍聴可の会議でも、開催当日ホームページで確認する

会議と傍聴 情報をまずは知る 情報に関心をもつ

行政が行う公の会議は、個人情報等守秘義務が発生するもの以外、傍聴可であるべきで、資料も提供すべきと思います。計画段階から、議会に説明していないから、という行政側の言い訳は不思議な気がします。他の自治体では、インターネ



立石港務所入り口付近の新自販機

多くの来町者が生名フェリを降りて最初に目にするのが公共施設立石港待合所である。ここは平成22年度に完成し、1階は立石港回漕店業務及び自転車貸出業務の委託を受けた民間業者が運営している。待合ロビーの奥には空き部屋があり、2階は地域交流センターと民間が経営する居酒屋が出店し営業を行っている。

立石港待合所は交流人口も多く、「広告宣伝」という付加価値が評価され、空き部屋待合ロビー等のスペースにつき、これまでに個人・民間業者等が幾度も商業的活用を目的として利用申請されたが、「個人・業者の利益につながるが、公共施設としては許可できない」との見解が示されてきた経緯がある。ところが立石港待合所は、開業当初から2階には居酒屋(飲酒が午後5時から11時まで営業し、1階待合ロビー奥には「各種飲料自販機」「たばこ自販機」各1台が設置され、また建物屋外敷地に「各種飲料自販機」が2台設置を続けている。いずれも町が設置者ではない。

この4月からは「島おこし協力隊」(職員)が、町の許可及び補助金を活用して立石港待合所正面玄関横に「みや台自販機」を1台設置。生名1台の「釣り餌自販機」を立石港務所屋外地に設置中で、地代・家賃が2台で月1,100円+電気代である。とすると、これは使用申請をする相手次第で町の対応が著しく異なることになり、従来の方針・説明から

公共施設の空きスペース 活用は公平に、柔軟に、供すべき

逸脱しないのか？。公共施設の中には第三者に貸与できないものもあるが、公共空きスペースについては条例や法令で一括りにせず、柔軟な運用で対処すればよいとは考えるが、使用許可に関しては公平性に欠けてはならない。この例のように、公共空きスペースの活用につき、現実には許可基準が曖昧で、申込資格、

日本の贈答文化を考える

オピニオン オフザビーブル 読者投稿欄



する「貰った返す」ということは、日本人の骨身に沁みこんでいる。かつては入院すると、「いくら包んだらいいか」と聴いて回り、謝礼金を治療費の他に主治医に渡していた。贈答品が親と子どもは大喜びだが、親は「お返し」のことで、考え深い顔をしていた。今では、病院は謝礼金を断り、寄付担当者置いて、寄付金を受け付けている。贈答品も「お返し」の習慣はやめるべきだ。人には幸・不幸がついてまわる。その時贈り物をして、祝ったり慰めたりすることは素晴らしい。だが、「お返し」はいらない。婆さんは「嫌われる勇氣」をもつて実行したい。

(早川和江 東京)

婆さんは入院した。コロナ下なのでお見舞禁止で静かな入院生活だった。コロナ以前は、誰かが入院すると、「早くお見舞に行かないと退院してしまふ」と急いで金品を持って駆けつけた。患者の方も、退院するとすぐに見舞いの金品を査定して、「快気祝」を送ってホッとする。なぜこんなに贈答にこだわるのだろうか。

これは「忠臣蔵」のネタになった赤穂事件のような袖の下習慣が長く続き、人々に教訓として残っているからではないか。「世話になったらお礼を」そうに言われたこともあり、公費を使って開催している生活に直結する会議にもかかわらず。

行政が行う公の会議は、個人情報等守秘義務が発生するもの以外、傍聴可であるべきで、資料も提供すべきと思います。計画段階から、議会に説明していないから、という行政側の言い訳は不思議な気がします。他の自治体では、インターネ

月例会から

開催日時：5月27日(土)

14時~16時

場所：弓削消防庁舎2階

内容：以下の件につき意見交換

①弓削高新築学生寮について

②自治会組織のあり方、架橋後の自治組織のあり方、ほか

ワトスン記事について

読者の投稿を募集中です。文字数は500字前後で。(編集係)



2023年(令和5年)
8月 第18号

発行:上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下弓削515
NPO法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 Tel 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

- 目的
①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
- 活動
②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探知し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
- ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
- 入会/退会
④入退会には特に条件を定めない。

蔓延する多数決の論理 少数意見を重視する行政が望まれる

防災アプリに生名橋改修工事のお知らせが入ったとき目を疑った。歩道を分ける緑石を取り除いて車道二車線にするという。夕陽を眺めながら自転車走らせると、速度を上げて走る車が怖く、こんなことはもうできないかなのか。議論は尽くされたのだろうか。そこでわが町の議会を傍聴してみることにした。

六月の全員協議会は十四日朝九時から開催された。焦点になったのは弓削高校の寮費三万九千円という額が妥当かどうか。もつと上げてみてもいいのではないかと意見も出た。寮運営費の不足分は町が補填することになるが、果たして長期的負担に耐えられるのか。何より肝心の弓削高校



自体的教育の質、独自性は保証されているのか、など協議を聞いていて気になった。指定ごみ袋の値上げ、新しい袋への切り替え方法についても討議された。驚いたのは指定ごみ袋の代金をごみ処理費用に充てられるわけではないということだ。

処理費用は別途支払われている、三十円というのは袋の原価(製造、印刷費、運賃、販売手数料の合計が約二五円)プラス五円ということらしい。それならばもつと安い市販のものを使ってもいいのでは? 五円の利益のために指定ごみ袋をつくる意味があるのか? 議会だよりを改めて読んでみると、こうした疑問はすでに出されている。が、他のものもろの事案についても、ほとんど反対意見は不採用になるようだ。多数決の論理がこの小さな自治体でも、あるいは小規模であるからこそなのか、余計働いているようだ。しかし小さい自治体だからこそ少数意見を重視し、少数者、弱者を大切に、隅々にまで目を配る、という行政がなされるべきだと思うのだが。

(弓削 古賀佳子)

町議会と、道の駅検討協議会を傍聴して思うこと

「道の駅」 誰のためにつくる? 出来たらどうなる?

受付で資料をもらったら、傍聴者は帰りに返却するように言われ、ん? 持ち出し禁止なの?、なんですか、と思いました。協議会メンバーの中からは、

はなのだろうか?。利用する側の意見はアンケートのみで済ませようです。この『長』さん達でまともな道の駅ができるのだろうか。そもそも商工会は、既存商店の生き残り作戦を練るのが優先課題ではないのかな?。

1週間2週間分が1回の買い物で済むから。ただし野菜、救急買い置きしてない物は町内で買っておきます。年とって動けなくなったら、どうしましようかね...。

(岩城 山本曜子)

事前に詳しい資料を貰ってないから事前配布希望の意見がありました。一から始める協議会だというのに、すでに道の駅の名前がついているの?。県から町から『長』の名の付く人だけの会!。大学のお偉いさんに分析していただいたら、あらゆる面から見てダメ出しが出ているようです。たしかに色々な面で視点がズレていると思いました。だいたい道の駅をどのように作るかより、道の駅を利用する側の意見を細かく分析するべきで

参考 『道の駅』について

●道の駅については2023年2月現在で全国1,204箇所の設置があり、そのねらいは国交省ホームページによると下記のように示されています。

—以下国交省ホームページより—

「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域にぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトにしています。また、「道の駅」は3つの機能を備えており、24時間、無料で利用できる駐車場、トイレなどの「休憩機能」、道路情報、観光情報、緊急医療情報などの「情報提供機能」、文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設で地域と交流を図る「地域連携機能」があります。

「道の駅」の設置者は市町村等で、国土交通省道路局に申請し登録します。



▲残された「自由党激化事件」執筆のために集められた資料の一部。

昭和42年(1967)夏に、先生は弓削商船高等専門学校へ移られますが、歴史の中に埋もれた人を掘り起こして、光を当てる研究スタンスと、そのまなざしは、岐阜時代に培われたということがいえると思います。最後に著書のタイトルも「村上貢編著『自由党激化事件』と小池勇『風媒社』1976年出版

海軍史研究で日本の近代化を照した 村上貢先生 そのご業績を紹介



金谷芳寛(郷土史)
岡山県瀬戸市内牛窓

日本の歴史学では、「近代政治史」という研究ジャンルが早くから確立しています。安保闘争の影響で、一度停滞期を迎えた後、日本各地での激化諸事件の相互関連性や評価に関して、もう一度見直してみようという動きが見られました。先生の指摘はその中でも注目される研究発表でした。著書の「はしがき」中でも、「研究の意義を強調されていますが、「民主主義の新たな発展のため、自由民権運動の遺産から学びとる必要が今日ほど大きい時代はないように思えるからである。」とあり、先生の言葉が閉塞感ある現代政治社会に生きる私たちの琴線に触れるように思えます。

平成28年、先生は生涯最後の論文として、『歴史評論』2016年12月号に「自由民権運動、激化事件の追跡」として寄稿されました。そのなかで今日の自由民権運動激化事件の研究は、諸相個別研究に終始して、総合的研究の進展が少ないことを指摘され、令和時代の歴史研究者に課題を投げかけ提起されました。先生に直接解説を承りながら、原稿を読ませていただいたのも、懐かしい思い出です。

瀬戸内の小さな島の 機動力に大きな期待をよせて

上島町移住したのは昨年夏のことです。七月に思い立ち、実際に越せたのは九月でした。保護犬を家族に迎えたばかりのわが家が暮らせそうなペット可物件がなかなか、見かねた地元ママの紹介で何とか古民家賃貸物件に辿り着きます。サラリーマンで通勤族。辞令が出れば一週間以内で越すのが常のわが家にとり、とても長〜二カ月の待機期間になりました。

移住を思い立った理由は子どもたち。虐待や暴力にノーを出さない地域に愛想が尽き、人らしく暮らせる地域で子ども時代を過ごさせてあげたい。で

きるだけ生徒数が少ない学校へ通わせてあげたい。そんな思いからでした。

かつて中山間地で地域おこし隊として過ごした二年間がボンヤリと田舎移住のイメージを膨らませてくれました。

社会人生活のスタートを濃密な人間関係と山間地文化の中で手厚く迎えていただき、過ごしたことは、カルチャーショックであり、その後の社会人生活の糧となっていました。

加えて結婚後十年間の転勤生活から地域性を肌で感じながら一年毎に転々とした経験も、移住のハードルを下げてくれたのでしょうか。この間、頼り

は移住や留学を歓迎するかのような町の移住促進サイト。実際に町に入ると温度は低め。制度的にも条件が揃わなければ後押し感はありません。

越してからは島おこしスタ

なのか、初期対応に不案内さがあり、島常識の特異性を徐々に謎解きしている感覚です。

穏やかな気候とのどかな島暮らしは厳しさと背中合わせ。島の地域性は辛抱強く、受容力低めの印象です。

子どもたちは地域の縮図。大人たちが幸福度の高い地域は、子たちの幸福度も自尊心も高いと感じます。子どもたちの安心は高齢の方々の安心とも比例する様です。本当に越す先々で面白いほどバランスは違っていました。

島の暮らしに感謝しつつ、住まう人のための幸福追求がもつとできる地域ではないのかな〜と、これからの小さな島の機動力に大きな期待を寄せています。(岩城 本田志摩)

「この町に来て1年」



ップや親切な地域の方々に情報をいただきながら、島暮らしをスタートすることになります。

上島町へ来てもうすぐ一年。普段の転入者や転入生少な

9月から指定ごみ袋が値上がりします。今回の値上げは、社会情勢上仕方ないにしても、ごみ袋の移行方法に関しては問題があると感じます。

もともとは、条例で定められた1枚20円で購入したごみ袋を、行政側の都合で値上げするのにもかわらず、わずかな移行期間でそのまま利用できなくなることは、住民と行政の信頼関係を壊す行為であると感じます。また、条例施行後は、「以前のごみ袋をそのまま使えば条例違反」という町長の発言は、住民が意図的に悪いことをしようとしているかのようにも聞こえ、ごみ袋の値上げをするのは行政側の都合であることを考えると、住民がいかにスムーズに気持ちよく移行できるのかという方法を模索するのが本来であつて、自分たちの都合で押し進めるとい

のは、住民を置き去りにした行政運営としか思えません。しかも、すでに現在のごみ袋は一時欠品になり、昔の蒼い文字のごみ袋を販売しました。今

の赤文字の袋に移行後に以前の袋をそのまま使えば、町長の言葉を借りれば条例違反。以前の袋を販売して使えるのであれば、欠品している袋を追加で制作する必要があつたのか。在庫であるものを使い切つてから、新しい袋に移行することもできるのではないのか。

移行後今の赤いごみ袋を使用するために貼るといふ差額分のシールにしても、100円と5円を1枚5円で作るといふ。5円で作つて、販売手数料を5円赤字である。しかも、ゴミ袋に

町指定ごみ袋の変更もつと合理的にできないものか

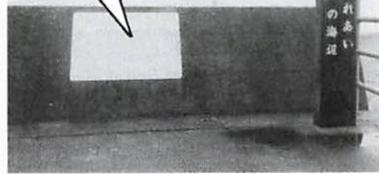
貼つて、燃やす。ごみを作つているようなものである。本来行政が目的としている、ごみの焼却のための燃料費180万円の確保にもならない。

「受益者負担」「公平」「平等」と説明するが、「一番大切なのはそこだろうか。『財政が厳しい』ならば、いかに全体的に見てこ

恒例の削地区一斉清掃を終えて

弓削削地区海水浴場を臨む海岸の一郭に、写真のような小中学生の作つた標語の書かれた色あせた看板があります。浜には海藻類や庭ゴミ、廃プラ類が漂着し、居心地が良いのか、住み着いています。この場所に昨年の7月、弓削中学生がゴミ箱を設置しました。『ふるりの海をきれいにしよう』という、海の環境美化作戦の一步としてでした。

- 空と海・きれいな青でにらめっこ
- 捨てない心・拾う心海すくう



昭和30年代、海水浴場として大勢のお客で賑わつた松原海水浴場は、今なお地域の憩いの浜辺です。その浜辺を「美しくゴミの無い浜辺に」という試み。地域住民の一人として嬉しくなりました。しかし夏が過ぎると、なぜかゴミ箱が消えました。何で？。聞けば夏場限定のゴミ箱でした。生徒の試みに共感し、蔭ながら協力していた地域の方々もおられ残念の一言です。今夏も同じかな？。

弓削地区一斉清掃で我々に指示された場所は、日比海岸防風林周辺と県道でした。

かつて同級生有志で十数年間、毎月1日に清掃した懐かしいエリアです。商船の寮生の通学路でもあり、お早うの挨拶ができる、できない学生さんがいます。「お早う、ございませう」と挨拶の返る女学生さんは、みな美人に見えました。

喜寿越えを機にその活動に終止符を打つて3年余。今は側溝には草が生え、くぼみには土や落ち葉が溜まり、道路が「助けて」と泣いていました。

公共下水になる前はこの日はドブ掃除が行われていました。残念ながら今の側溝は植木鉢化です。数年に一度くらいは各地区とも集中して県道、町道の側溝の清掃をやつたらどうでしょう。山からの雨水が気持ち良く流れるよう水路点検も切に望みます。昔は地域に町道、農道を見守り、行政に報告する番人的な人が居たと記憶しています。地味な作業ですが土砂災害への備えかと思えます。

線状降水帯に備え、日ごろ近所での連携と繋がりを切に思う八十路です。(弓削 濱村寿)



月例会から
開催日時：6月24日(土)
14時〜16時
場所：弓削消防庁舎2階
内容：以下の件につき意見交換
①一斉清掃の各地区の現状、
②家庭ゴミ排出の現状と課題、
③生名渡船高齢者無料乗船券、
④獣肉加工販売の現状と課題、
⑤自治会組織の形態統一、ほか。

ワトスン記事募集について
ワトスン編集係では読者の投稿を募集中です。住民自治の観点から、日頃の気づき、町のこれから等につき、ご意見等お寄せください。文字数は500字前後でおねがいします。(メール可)
なお匿名での投稿、建設的でないご意見はお受けし兼ねます。(ワトスン編集係)



2023 年(令和5年) 9 月 第 19 号

発行: 上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下弓削 515
NPO 法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 TEL 090-8247-5279 (平山和昭)
E メール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

●目的

- ①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
- ②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
- ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
- 入会/退会
- ④入退会には特に条件を定めない。

蝉の鳴き声と共に今年も猛暑の夏がきた。児童生徒の待望の夏休み。コロナ禍の3年余り、マスク着用の自粛生活から解放され、楽しい夏だ。

実は、7月24日から天神原広場(下弓削)で小学生がラジオ体操をするので地域の皆さんも参加しませんかと回覧板が廻り、家内と出掛けました。児童に保護者、地域の皆さんも含めた40人余りでした。ラジオの音量が上がると、「新しい朝が来た、希望の朝だ...」の歌が流れ、ラジオ体操第1で始まりました。6年生3人が前に出てお手本です。元氣よくする

NHK 全国巡回ラジオ体操

in 岩城島



▲全国巡回ラジオ体操が8月6日、町内岩城小学校にて開催された。大勢の老若男女が集まり、「希望の朝だ、喜びに胸をひらけ...」それ1・2・3」と、お天気に恵まれ早朝の元氣な笑顔でした。

ラジオ体操のすすめ



が、昭和、平成、令和と延々と受け継がれ、児童と八十路の高齢者が一堂に会して集うことができます。ラジオ体操には賞味期限は無いのです。たかがラジオ体操、されどラジオ体操ですが、続ける努力があつてこそだと思います。

児童の皆さんにお願いです。大きくなつてもラジオ体操は職場の始業前の準備体操ですから覚えていたら笑顔になれますよ。自分の為に覚えることをお願いいたします。猫も寝起きに背筋を伸ばし体操しているのを見かけます。皆さん生涯現役を目指しラジオ体操をしましょう

(弓削 浜村寿)

子育て中は、よく女！って損やなあ...、生まれ変わるなら絶対男の独身！、と思つていました。あれから40年以上が過ぎ、そう思うのは食事の支度の時と体力が減少している時ぐらいになっていきます。

家事、子育て、ご近所付き合い、大抵は女性担当です。隊ぎに行く、が男性担当になっていくと思います。

なんたるな〜？ 「女性」って

女性の仕事は範囲が広いです。気遣いの部分です。男性は命を掛けての仕事もあります。ここが体力の部分ですね。

主人はよく、しんどい！を連呼します。同級生夫婦の私たちが、確実に体力があるのは男のあ

なたでしょ！、と心の中で叫んでおります。最近、この私でも体力、氣力がガタ落ちています。主人の健康管理まで出来なくなりつつあります。

我が家は引越越しを機に、地区の用事は主人に出てもらうようにお願いしました。

数年前には自分の事は自分でするように男性陣にお願いし、自分のお茶碗洗いと洗濯は各自やっています。これで女性

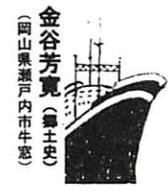
の体力消耗は減るし、男性は自分の事ができます。お願いするような事でもないんですが...ね。

最近、女性の何が？という所が女ではダメなのか？と考えています。

国の動きが女性元年と言われていたようですが、男性の考え方、女性の考え方、言い表しを、女性を先に持つて来るとどうでしょう？。少し違和感があるとしたら、そこから考え方を改めて行くべきではないか？。

女性男性関係なく、努力すればできるんです。勉強すればできるんです。(岩城・山本瞳子)

村上演先生 そのご業績を紹介



海軍研究で日本の近代化を照した
NHKのラジオ番組に、先生が出演なされたことがあることを、みなさんご存じでしょうか。「趣味の手帳」という番組です。「趣味の手帳」は、昭和二十五年から昭和五十三年三月まで放送された長寿番組で、小説家や学者など著名な方をお招きして、物事の虚々実々の面白さを伝え、リスナーの知的関心を満足させるという人気番組でした。先生のご出演は、昭和四十九年二月十一日に放送されています。講話は「幕末の漂流者たち」。

「鎖国」といわれた江戸時代、数奇な運命をたどり、海外へ漂流して外国を体験してしまつた船員たちが、どのように帰国し、何を伝え、生涯を終えたのか。先生は史料として残された「漂流記」を読み解きながら、優しくラジオのリスナーへ、いろいろなエピソードをお話されております。日本に初めて種痘を持ち帰った芸州川尻の久蔵をはじめ、日本を開国させたアメリカのペリーに関わることになつた因島の亀五郎、生口島の仙八(サムパッチ)や岩城島の民蔵など、郷土のゆかりの人物が語られています。先生は昭和四十二年に弓削商船学校へ転任されてから「芸芸部」の顧問を引き受けられ、学生と共に郷土の歴史を探究する活動を



NHK「趣味の手帳より」幕末余話
文化出版局・昭和53年

を始められました。その時のお話にも、成果が反映されていると思われまます。

ラジオ番組は昭和五十三年度をもって終了してしまいましたが、文化出版局よりシリーズ本十冊余りが刊行されました。ラジオでの講話は、「趣味の手帳 幕末余話」(昭和五十三年刊行)に収録されていて、今日でも図書館などで、手に取って読むことができます。



箱いろいろ

近頃わが町では「箱」が話題になる。災害地への義援金箱、花火の募金箱、議会へのご意見箱、道の駅設置へのアンケート回収箱。大きさも設置場所もさまざまだが、住民のみなさんにはしっかり周知されているのだろうか？。特に花火のは一番大きかったし、目立つところがあった。あんまり目立たなかったのは議会へのご意見箱。小さくて立石港務所内では探しました。道の駅アンケート回収箱は、写真のように建物の入り口ドアの外の足元にあった。よく風に吹き飛ばされないものだ。

「箱」の姿かたちをみれば、設置者のそれへの思い入れが見て取れる。さて、ところでなにより一番大事なものは選挙の投票箱ですね。まずは我々の大切な一票、必ず投票所の「箱」へ。
(町内某&某)

最近になって特に弓削高校の寮建設に関するご意見をよくいただきました。住民に事業内容や進行状況が伝わるのが遅いせいか、いまだに「住民投票」や「署名活動」で建設を止めることはできないのかなどと言われることも多いです。ですが、弓削高校の寮に関しては、議会で工事請負契約の議決も賛成多数で可決しています。今から中止を求めるとは、現実的ではありません。



弓削地区・久司浦集会所出入口に置かれた「道の駅開設へのアンケート調査」回収箱

似たような案件として8月に道の駅の住民アンケートが行われていました。皆さんは、アンケートに回答されましたか。

住民自治の第一歩は、住民の想いを行政に届けること

これは男女平等度を示す今年のジェンダーギャップ指数だ。日本は146カ国中、過去最低の125位。G7中最底だ。北欧諸国が上位。7位~20位までに中南米やアフリカ諸国が入っている。これらの国は、国会議員の選挙制度にクオーター制を導入し、平等に向けた法律を整備する等のジェンダー平等政策を積極的に推し進めてきたからだ。新聞のコラムで読んだ。メディアは、夫の育休の取得率が低い等、社会のせいにした通り一遍の報道をしたただけであった。女性たちからも強い声が上がらなかった。婆さんは、宝塚やジャニーズ



「日本女性は125位」



のファンを見ていると、とにかく「好き!」だけで、理由などどうでもいいようだ。このように感情的に走る女性たちを利用して稼ごうとする人たちがいる。「オウム真理教」事件が起きたとき、底辺で支えている女性信者が多くいて、彼女らは「洗脳」され利用されていると言われた。「統一教会」事件でも女性信者は多く、女性を利用して普及拡大をはかろうとしているのが見られた。このように、男女平等より女性を利用しようとする輩が多いのだ。「どうする女性たち!」
(東京 早川和江)

疑問だらけの県立弓削高校学生寮建設議案が議会でも可決され現在建設中ですが、またも商業施設「道の駅」建設計画が行政主導のもとで進行し、この10月に開催される第2回目の「道の駅検討協議会」で合意の目処を付ける方針とか。設置場所も施設の仕様も、事業内容のたたき台も示されず、建設費が何億円掛るかもわからず、儲けも予測されていない。既存の類似店舗を倒産や廃業へ追い込むおそれもあるこの「道の駅」計画が進行しているあり様に、「いても立ってもいられない」気持ちで、この事態のもつ意味を、読者の皆様にお知らせしたいと願っています。

「道の駅」の目的は、道路利用者への安全で快適な交通環境の提供の一環であり、地域の振興に寄与することです。基本コンセプトは、休憩機能があり、情報発信機能や地域連携機能が整備されていることですが、これらの目的や基本コンセプトに見合った施設は、既にこの上島町には整備されていると認識しています。なぜ今更それを、と呆れるばかりです。上島架橋が完成し、「ゆめしま海道」として海道沿には公園、駐車場、トイレ等も整備され、

道の駅って必要なの？ 類似商業店舗はどうなるの？

情報発信機能や連携機能施設として、島毎にある役場支所、観光協会、小・中学校、各港務所、フェスパ、いきなスポレク等々があり、それに加え20分商圏内に、町直売所のいわぎ物産センター、スーパーのAコープいわぎ、フレニール弓削店、Aコープ弓削店、コンビニのヤマザキ弓削店、ポプラ生名店、ヤマザキショップむらかみ等があり、その他、洋品店、和洋食店、喫茶店、みやげ店等々が揃っています。

このような地域社会の実態をみれば、「道の駅」は必要ないと判断するのが妥当です。町がコンサルタント会社に依頼した「道の駅ポテンシャル(潜在能力・可能性)調査結果報告書」によれば、「上島町の現状の物理的なポテンシャルでは、商業的・経営的に需要見込みが不足と予測する」との書き出しで始まり、成功への助言や地元業者との調整や事前協議等の重要性も指摘されています。

これ以上の集約型店舗の増加は、町内バランスが崩れ、経営破綻等が予測されるにもかかわらず町行政がそれに加担する姿勢は、余りにも無責任と言わざるを得ません。
(弓削 濱田高嘉)

加するものとしては、委員会や協議会。意見が言えないまでも、行政や議員の働きをチェックできるのは、会議の傍聴、会議録の確認、CATV放送視聴。私たちの町です。自分たちの想いが反映される行政であってほしい。本来なら選挙で選んだ人たちが、私たちの代弁者として、私たちの望む政策を実行してくれればいいのですが、実際にはどうでしょう。

まずは、だれでも参加できる方法での「住民としての意思表明」を、です。
(岩城 大西幸江)

月例会から

開催日時・7月22日(土)
14時~16時。場所:弓削消防庁舎2階会議室にて。

- ①伝統行事(盆、祭り等)の各地区の現状と課題。
- ②関西岩城会が継続している理由や、他の地区での現状など。
- ③魚島での「ささなみ留学」の現況。
- ④わが町の箱物建設につき決定までのプロセスの問題点ほか。

●ワトスンの記事募集集中!
ワトスン編集係では皆さんの投稿を募集中です。匿名は不受理。
(ワトスン編集係)



2023 年(令和5年)
10 月 第 20 号
発行: 上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下弓削 515
NPO 法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 Tel. 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

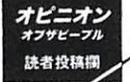
自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋
●目的
①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
●活動
②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。場所についてはお問合せください。
●入会/退会
④入退会には特に条件を定めない。

人間味ある生活を築くには

夏坂周司 (岩城)

この度は、ワトスン 18 号発行、おめでとうございます。記事を読んで、虐待と暴力から子どもを守るために移住、1 年毎に転勤する転勤族、地域に溶け込む努力など、改めて考えさせられました。今後も、豊かさや幸せ、期待と現実など、町民の語り合う場と情報を提供し続けて欲しいと思います。最近カナダやアメリカでは「情報砂漠」が問題になっているといます。上からの報道制限が伝わる中、その前に地域の新聞がなくなってしまったというのです。人びとが新聞を読まなくなってしまったからです。地域ミニコミは情報発信の大切な役割を果たしている

思います。終戦記念日のこの時期、特集される戦争体験記などを読んで、私は何か物足りなさを感じています。戦中戦後の貴重な体験なのに、反戦・非戦の気持ちや湧いてこないのです。やはり戦争のむごさは、人間性の抑圧にあるのではないのでしょうか。物言わせぬ暴力と圧迫、そして自由の抑圧。戦争するもされるも共に被る苦しみは、人間としての自由の抑圧だろうと思います。私も空襲や機銃掃射などを見てきましたが、それを述べ



るときはいつも断片的・羅列的になって、意味づけのない過去の出来事になってしまいます。しかし、人間とか自由、抑圧などの考えを入れると、整理して述べる事ができます。私は以後「人間自由」を名乗ろうと思っております、姓は「人間」名は「自由」。社会の難しい問題に遭遇したとき「それは人間としてどうなんだ」「それは自由を抑圧していないか」と、自分の名前に照らして考えるように努めたいと思っております。ウラジーミル・プーチンも「人間自由」を名乗れば、直ちにウクライナ侵攻をやめる事が出来ると思います。みんなが「人間自由」を名乗って議論すれば、人間第一の生き生きとした社会を築けるのではないかと思います。23,8,15

デマンド交通「望む」

これはあくまでタクシーであり、普段の買い物やちょっとした用事には使えない。バスの代わりにはなりません。もし町営バスを廃止して、デマンド交通に切り替えるという方向でこの案が出されているとしたら大問題です。たない人たちはどうでしょう。立石港を利用するためのバスは便利とは程遠い状況にあり、バスの時刻表は恣意的で、久司浦線を例にとると、30分前後の間隔のときもあれば、80分以上待たなければならぬ時間帯もある。土曜の午後、日曜に至っては全く走

交通弱者が、気楽に外出できる仕組みを

しかし予約が必要だし、料金も割高となるというデメリットも見逃せない。これはあくまでタクシーであり、普段の買い物やちょっとした用事には使えない。バスの代わりにはなりません。もし町営バスを廃止して、デマンド交通に切り替えるという方向でこの案が出されているとしたら大問題です。たない人たちはどうでしょう。立石港を利用するためのバスは便利とは程遠い状況にあり、バスの時刻表は恣意的で、久司浦線を例にとると、30分前後の間隔のときもあれば、80分以上待たなければならぬ時間帯もある。土曜の午後、日曜に至っては全く走

ていません。車を持たない住民は外出すると言っているようなものです。デマンド交通を導入して代替できる問題ではありません。採算よりも暮らしやすい町づくり、住民の福祉を第一に考えて、です。それほど難しいことではないはず。例えば①朝夕の通勤、通学時以外はバスではなく、ワゴン車を走らせる。小型なので細い道にも入り込めバス停を増やせ



【参考】
デマンド交通とは「予約制の交通サービス」のこと。予約する利用者に応じて運行時刻や経路が変わる交通方式です。予約がある場合のみ運行されるのが一般的です。

ある。10人乗りという車種もある。普通免許で運転できる。②立石港を発着の起点として、毎日決まった時間にバスが来るパターンダイヤを採用する。パターンダイヤは一定の間隔で、例えば9時5分、10時5分というように毎時の発車時刻を同じくして、定期的に運行するダイヤです。利用者は記憶しやすく、あの複雑な時刻表をいちいち確認する必要がなくなります。住民が気楽に外出し、交流できる。これは、住民福祉にとって欠かれない課題です。(弓削・古賀佳子)

村上貢先生



金谷芳寛 (郷土史) (岡山県瀬戸内市牛窓)

(5)

弓削商船高等専門学校へ転任後、先生は多忙な校務の傍ら学会誌『海軍史研究』(商船学校の学芸部刊行のものとは異なる)の学会会員となり、「海軍史」の分野を精力的に取り組まれました。特に近代海運黎明期は、ペリー来航以来、我が国は不平等条約を諸外国と結ばれており、事故や事件では複雑で不平等な審議経過をたどりませんでした。これまで我が国の歴史学では江戸期の漂流記研究などはありませんでしたが、明治期における海軍と外交研究に関する研究は、先生のご研究は先駆的な近代海軍史研究の位置づけとなり注目されました。昭和五十四年「福宮丸と対米賠償交渉―永井重助関係史料を中心として―」(海軍史研究 第32号)、昭和五十七年「明治6年露艦ザビヤカ号による妙運丸沈没事件」(同39号)、昭和五十九年「明治十八年横浜沖、仏艦による和船順風丸沈没事件」(同41号)、昭和六十年「千島艦衝突事件」と水先案内人北野由兵衛」(同42号)、昭和六十三年「泰徳丸の海難と海上衝突予防規則の成立」(同45号)と、続けて郷土の人々の足跡に関わる論考を発表されています。また当時広島大学の渡辺則文教授のご指導やご助言で、文部省から「科学研究費」を取得して研究発表され、商船学校名の「海の学府」としての知名度も高められています。平行して『弓削商船高等専門学校研究紀要』には、昭和六十二年、「英船チベット号の海難と水先審問」、「明治四年、長崎港、英船と夕顔丸衝突事件」の二論考(同9号)、翌年には、「明治期における国際海難事件と対外交渉」(同10号)などのご労作を発表されました。後に研究成果の一部は、『幕末・明治期における国際海難事件と対外交渉』についての基礎的研究」としてまとめられ、関係機関へ配布されました。

問題意識を持つとう

行政チエツクは議会だけでなく町民も

何?、何故?、どうして?、
どうなっているの?

この町で起こる身の回りの出来事で、よくわからないことが皆さんの周りにもきつとあると思います。どこかで誰かがその理由を説明しているのかもしれないし、単に聞き漏らしているだけかもしれないし、説明はされたが理解できないこともあるはずで、3歳の孫がいつも「何?、どおして?」と口癖のように聞いてきます。自分の周りの事が少しづつ解り、わからな



いことを自分なりに理解しようとしています。私達大人はどうでしょう?

私は、町の事で解からないことがあるにも拘らず、自分なりに解るようにする為の努力をしないことを、幼い孫に教えてもらったような気がします。そうだ、私にも身の回りに色んな何故がありました。これを読んでくださつ

ている皆さんに聞いてみよう、誰か教えてください。
例えば、
・ゴミ袋が10円値上げした
こと。それが一体いくら
の財政改善がなされるの
だろう。
それより、ゴミ処理の委託料
が以前より倍近くになった
のを少しでも引き下げるよう
、どれだけの努力がなされた
のですか?
・公営渡船の時刻表、一定間
隔で無く不規則で、夜8時以
降は1時間に2本なのに待ち
時間が20分と40分。早く
帰宅したいのにギリ遅れると
40分も待たなければなら
ない。以前、聞いてみたら、町
民の誰からもクレームは入
っていませんと、けんもほろろ。

どうして?
・最近では6億円近くの入札
が、応札1社だけで、しかも
落札価格は100%近く。法
律違反ではないそうだが、そ
れで本当にいいの?
・何億円もする道の駅を作り
たいみたいですね。無いより
あったほうがいいかもしれ
ないが、本当に必要?、など
など誰か、理解できるように
教えてください。
まだまだ色んな「何故?」が
あります。今はこのくらいに
しときます。
皆さんの持つている「何
故?」を教えてください。一
緒に考えましょう。
(生名・濱田和保)

議会傍聴が楽しみになった でも、真に町民側目線での論議が少ないかな?

何度か議会傍聴のお誘いを受け、時間を作って行かないとテレビもろくに見ないと...最近ではちよつと楽しみになっているし、ライブ配信もしてもらいたいと思っています。
全体の流れとしては議員さん達も頑張っていてくれて、パワハラにも感じられる発言もあつたりする。案件によつて

何でそうなるの?、住民が必要があるのでは?、議員さんはこ言民と会話してる?、とか、言いながら傍聴しています。そしてお会いする方々にちよい愚痴つたりしています。住民への説明がないからこんな問題が起こる。百聞は一見に如かず...住民の見解は何処へ... (岩城・山本ようこ)



【写真説明】
町内外から参集してくれた第11期生

弓削中学校第11期生、傘寿祝い もう八十、 まだ八十!

我々の傘寿の祝いがコロナ禍で延び延びになつてしまつたが、ようやくコロナも落ち着いたこの8月27日、傘寿超えの集いを開きました。町内島外合わせて34人の仲間が、短い時間でしたが楽しく笑顔で集うことができた感謝するところですよ。

11日のこと。清掃活動を終え、ご苦労様、また来月ねと帰宅。昼食後のテレビの映像に、ドラマのロケと勘違いする様なシーンでした。嘘!と、声も出ませんでした。
あの悪夢から12年と半年余りが過ぎ去りましたが、今なお福島原発処理水問題で漁業関係者は厳しい日々が続いています。選歴から15年間余り続けた清掃活動も喜寿を迎えたとき終止符を打つこととなりまして。長年の清掃活動に協力していただいた仲間達、ありがとう。

毎年選歴を迎える同窓生も居ます。自分達もやろうという同窓生グループがでてこなのが残念です。

人生選歴は一つの節目かと選歴を機に多少自分の時間にゆとりができた仲間達で社会奉仕をするのもまんなざらではあります。小さな一歩ですが、この一歩が上島町の将来に笑顔をもたらしきつかけになると思うところです。今の弓削中三年生による夏場限定とかの松原海水浴場ごみ箱設置も、自分達の町を、海を奇麗にしようという小さな一歩。いつか大きな輪になることを願うところです。誰かが捨てたゴミを拾うことは勇気です。奉仕で勇氣の笑顔を増やしましょう。

傘寿超えの集いのとき皆で歌つた校歌、「行くて正しく胸に秘め、励み学ばん身と心、弓削中我ら榮えあれ」を思いだし感謝です。
(弓削 浜村寿)

不思議なわが町の行政手法

最近わが町のホームページに、保育所の在り方に対するアンケート結果が公開されてつた。本紙第20号には、先だって町が実施した「デマンド交通」に関するアンケートにつき、考察記事が掲載されている。

私は、公開の色々な審議会や委員会等、町民が構成者として参画している会議はできるだけ傍聴しているが、いつも感じるのは、行政施策の進め方への違和感である。

■政策立案の主役は行政

当然のことだが、行政の行う施策は、第一義に町民の生活向上に資するためであり、何をどんな目的でどう進め、どう次につなげるかは、立案のとき最終的な絵面が描けていなくては、そういう会議で意見や適否を問われても判断しようがないはずだ。行政側が示すものが漠然としていれば、審議

会や検討委員会やアンケートなど、単なるアテ職や専門家でもない町民に、適否判断や方針を考えてもらうには無理があろう。その結果いざ政策として実施される段になり、いろいろとおかしな事態が発生する。たとえば町内使用限定の商品券。

■町内使用限定商品券

町内事業者への応援という側面はわかるにしても、では町内に一部店舗や公営渡船や他の船便、公営バス等には使えないが、利用制限がある。商工会員でないなど理由は述べられるが、原資は税金、住民の利便性が優先されねば、お互いに不公平だ。つまり住民(=消費者)からすれば、利便性が半減し、制限を受ける事業者には差別待遇となる。消費者にとっては、どこかの店でも使えてこそ意味があり、使い勝手の良さこそが命であるにもかかわらず、だ。
(弓削 平山和昭)

月例会から

開催日時・8月26日(土)
14時~16時。場所...弓削消防庁舎2階会議室。以下の件につき意見交換しました。

- ①防災訓練、②み袋関係、③島離島留学、④「道の駅」関係。
- ワトスンへの記事募集集中!
ワトスン編集係では、皆さんの投稿を募集中。但し匿名は不可です。



2023年(令和5年) 11月 第21号

発行:上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下町削515
NPO法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 Tel. 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

- 目的
 - ①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
 - ②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
 - ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。開催場所はお問合せください。
- 入会/退会
 - ④入退会には特に条件を定めない。

懇談会やアンケート調査 なんのためにやるのか

9月議会は決算認定が主な仕事です。前年度使ったお金(事業費)が適正だったか、それを必要なのかを質問して予算に反映させるのが本来の姿です。だが、すでに使ってしまったお金。異を唱えてもしかたないという認識で認定してしまう傾向があります。



▲生名島・サウンド波間田キャンプ場

的な生活を守るために運営されるものだからです。そのため交付税なり、特別交付税なわけです。

ではそんなわが町の、実際お金の使われ方はどうか。CATVを観た人からは、よその人にばかりお金を使っている、といわれる。もちろんそんなわけはなく、基本的な国の制度にもとづく部分については、多い少ないはあれ予算計上され、使われています。だが住民がそんな気持ちになるのも理由があり、例えば昨年からの壊れている岩城

やっとなぞ阪神タイガース

野球ファンの皆様、18年振りに阪神タイガースがリーグ優勝を決めました。宿敵巨人を相手に甲子園球場で岡田監督が宙に舞いました。阪神ファンには待ちに待った「アレ」でした。ひよっとしたら今年の流行語大賞にアレがなるのでは、と今からちらほら

我々はみなプロの社会人 プロ意識で生活しよう

野球ファンの皆様、18年振りに阪神タイガースがリーグ優勝を決めました。宿敵巨人を相手に甲子園球場で岡田監督が宙に舞いました。阪神ファンには待ちに待った「アレ」でした。ひよっとしたら今年の流行語大賞にアレがなるのでは、と今からちらほら

近つたと言うぐらい優勝から見放されてしまいました。負けても胴上げの輪のなかに居た選手でも、ドラフト会議が近づくと己の活躍出番の多少で残留ができるかの厳しい生き残り現実の壁に直面します。これがプロの厳しい現実です。



誰がとるのでしよう?

各球団が、引退、戦力外の選手の氏名を公表しています。喜びの涙の裏には悔し涙もあり、18年ぶりの優勝の陰で厳しい現実には涙した選手が沢山居ます。

「阪神の団旗を掲げ傘寿超え」(弓削猛虎会 浜村寿)



金谷芳寛(編主史)
(岡山県瀬戸内市牛久)

地域の歴史文化を詳しく調べて記録したものの一つに、地方自治体が刊行する「自治体史」があります。戦前では、郡役所が大正末年まで置かれていた関係で、「郡史」編纂ブームもありましたが、戦後は市町村単位で盛んになっていきます。1955年頃の「昭和大合併」や、1960年代後半の「明治百年」を契機に大きな動きとなつていきました。最近では、2000年代の「平成の大合併」が大きな編纂の動きでした。

岩城村では、昭和45年「伊予岩城島の歴史」続いて「続伊予岩城島の歴史」が刊行されました。しかし、史実と伝説が混同され、正確な史料に基づいていない内容もあり、より充実したものを十五年後に岩城村百周年記念事業で編纂することになりました。内容は上巻、下巻で構成され、全体の編集長は、岩城島ゆかりの歴史研究家森本繁先生、上巻編集委員に村上貢先生、片山清先生、下巻は元収入役をされていた福井四郎先生らが責任担当されておられます。構成は上巻が、古代〜近世までの通史と、研究論文で個別研究。これに加えて、岩城村が誇る近世資料群より一部史料を翻刻、下巻は岩城村の近代の歩みと現勢統計、民俗などの文化編という構成でした。



▲故・村上貢氏の書斎は研究資料で埋まっている

先生は、研究論文「海難と海外への漂流」で、岩城村勇吉の漂流、黒船に乗せられた民蔵(大吉)を取り上げられています。鎖国時代の海外漂流は、それだけでも重罪で、送還先の長崎奉行所で厳しい取り調べを受け、口述が「犯科帳」に残されます。先生は長崎県が所有する「長崎奉行関係資料」を、渉猟され、地元資料との供述の違いなども丹念に調べられています。

現代世相分析 「AI活用新時代」

AIとは人工知能 (Artificial Intelligence) (アーティフィシャルインテリジェンス) の略称とかで、様々な生産現場での機器制御などに活用されています。最近とみに話題になっているものに ChatGPT (チャットジーピーティー) というのがあります。インターネットに接していない方にはその実態に触れる機会が少ないかもしれませんが、インターネット上で AI に質問すると、AI が質問に応じた適切な回答をしてくれるというふうなものです。文字でも音声でも可能で、適切な質問をすれば、出てくる答えは相当に使える? もののようです。例えばネットでも次のようなアドレスにアクセスし、<https://www.bing.com/search?q=bing&form=WSHBSH&gs> 「何でも聞いてください」という欄に、「愛媛県上島町の将来への政策課題はなんですか?」と質問を打ち込んだ結果が左の□内の AI の回答です。スマホでもパソコンでもやれます。再現性もあります。皆様もぜひおためしください。しかし、なんか行政の物言いにもそっくりですね。当然ですが...

我々はどこへ向かっているのか?

人工知能は生身の人間とは違い、疲れ知らずで処理能力は高い。でもこれはあらゆる既成事例のコピーです。ネット上の膨大な既成の情報の中から、質問への答えになりそうな文言を拾い出し再生成しているにすぎない。もともと普段の我々として、現代に至るまでの人智の働きの結果である様々な情報の中から何かを拾い出して使っているわけですので、実は似たようなものかもしれません。ではこうした行政課題も解決策も、こうしてどこかの誰かがやった事例をなぞればすむのか?。なら、お役人も、議員さんも不要となる日も近いのですかね?。

将棋の8冠達成の藤井聡太は、AI相手に修行をしているとか、学校では生成AIの活用を模索とか聞くと、さてはてAIと人間、どっちという世の中をつくりだしているのでしょうか?。画像はこんな未来図も、ということ。(弓削 平山和昭)



最近眠れませんか! 私はこの町の将来が心配です

婆さんの居住区では敬老金は家庭をまわってきてくれたが、コロナになりカタログによる敬老金相当の品物に変わった。今年もコロナも終息してきたので、元にもどしてほしいと要望が多かったが、区役所は、現金給付は人手がかかるので出来ない。カタログによる給付を続けるかと回答があった。婆さんが民生委員に会うのは、現金給付の時だけである。だから今は民生委員の名前も顔も知らない。困った時、民生委員に相談するより区役所に行ってしまう。民生委員は児童委員も兼ねているけど、子育て中の

孤老の主張 民生委員制度 見直しが必要

人たちも、区役所に行ってしまうだろう。孤独死を防ぐ見守りも無理だろう。制度の見直しが必要と思う。婆さんも孤老であるが、孤独死を周りのせいにするのはおかしい。孤老は長い人生の果てに選んだ生き方の結果である。子どものように見守られたくない。静かに暮らしたい。体中を管に巻かれて死ぬより、一人ひっそり死ねたら本望だ。ただ何日も発見されず腐乱状態になったら迷惑だ。それで、毎朝9時頃妹に電話してお互いの無事を確認しあっている。



(東京 早川和江)

以下 Ai と筆者のやりとり一例

Q 「愛媛県上島町の将来への政策課題はなんですか?」
A: 愛媛県上島町の将来への政策課題を検索しています
・回答を生成しています…

A: 愛媛県上島町の将来への政策課題については以下のような課題が挙げられます。1、2、

1 産業構造の変革への対応
造船業の市場環境の激化、農業や漁業の衰退、商圏不足による第三次産業の停滞などが課題とされています。

2 人口減少社会を生き抜くための対応
少子高齢化や人口減少に対する対策が必要です。これらの課題に対して、上島町では地方創生の観点から様々な施策や取り組みを進めています。具体的な施策や取り組みについては、上島町の公式ホームページや関連資料をご参照ください。1、2、3、4、

1: 上島町 第2次総合計画 2: 上島町 - 愛媛県庁公式ホームページ 3: 「令和5年度上島町重要施策要望」上村町長と意見交換 (離島 … 4: 上島町版「人口ビジョン」 「総合戦略」 - 上島町公式ホームページ]

月例会から

- 開催日時 9月23日(土) 14時~16時。場所 岩城開発センターホールにて。
- 以下の件につき意見交換した。
- ①町内一斉防災訓練の現状と岩城北地区防災訓練について。
- ②各地区秋祭りの現状について。
- ③チャットGPTで上島町の質問をしてみようかなるか。
- ④移住者のカフェ(事業計画)

について。

- ⑤町づくり懇話会について。
 - ⑥有害鳥獣駆除と獣肉加工会の現状とあり方について。
 - ⑦箱物建設多発について。
 - ワトスンへの記事募集中!
- ワトスン編集係では、皆さんの投稿を募集中です。文字数は基本500字程度でおねがいします。但し匿名は不可とさせていただきます。

皆さんは、放漫な行政のすえ財政破綻した夕張市の今の姿をご存じですか? ネットで見ればすぐにわかります。税金が5億円程しかないこの上島町で、100億円もの予算を使い続ける事が大丈夫、健全財政だという言葉を信じますか? 人口減少、税収減少、地方交付税などの様々な収入減少の中、これから先も今までと同じ財政運営が続けられると思いますか? 健全財政だという前提で行われている施策が、将来に何をもちたらずと思いませんか?

町の未来は、町長及び執行部と町民の代理人である議員によって決められていきます。民主主義の根幹二元代表制。では議会でもちゃんと議論をし、本来の監視機能が果たせているのでしょうか?

ケーブルテレビの議会中継を見てみると、口では耳障りの良い是非々々と言っているが、その多くが、執行部が進める事業につき何の意見も述べず、ただ賛成の手を上げる議員の多い事に不安を覚えませんか? 以前、町の各学校が、子供たち

ちの為にこれをした、あれをしたという予算要求が上がる中、財政担当課から「本町に町にはお金が無いんです」と、僅かな予算を要求するが認められなかった経緯を見られました。それは、お年寄りや一般住民の為に予算もわかりであり、他の部局でも無い袖は振れないと諦めていた事実がありました。にもかかわらず、今の財政運営は健全で大丈夫?

現在建設中の弓削高の学生寮も、計画中の道の駅の建設や、海の駅の拡張や海苔加工場の建設なども、無いよりあったほうが良いと私も思います。しかしそれと引き換えに、どれだけ借金が増え、当事者も含め後世にどれだけ負担をさせ、子供たちや、お年寄りの為の施策がどれだけ出来なくなるのか。それをちゃんと天秤にかけた政策決定をしてほしいとは思いませんか? 町の将来の行方を左右する執行部と議会のあり方を検証し、見直しが必要とは思いませんか? 皆さんのご意見はどうなんでしょうか? (生名 濱田 和保)



2023年(令和5年)
12月 第22号

発行:上島町自治研究会
〒794-2506 越智郡上島町下弓削515
NPO法人・頼れるふるさとネット気付
連絡先 TEL 090-8247-5279 (平山和昭)
Eメール yugeru3@ray.ocn.ne.jp

自由参加型任意団体
上島町自治研究会・会則抜粋

- 目的
 - ①本会は上島町における住民自治機運を盛り上げることを目的とする。
 - ②住民自治に関心のある者の自由参加により活発な議論などを通じ、少子高齢化の進行に歯止めをかける方法を探究し、安心して暮らせる町作りに寄与する町民の自主的活動を応援する。
 - ③会は定期的に自治研究会を開催する。
※但し現在のところ毎月第4土曜日、14時～開催中。開催場所はお問合せください。
- 入会/退会
 - ④入退会には特に条件を定めない。

後期高齢者の私は、携帯電話を主に電話機能だけを利用して「何の不便」さも感じていない。時代の変化にいち早く対応し、「ガラケー」から「スマホ」へ機種変更したが利用目的は変わらず、家族に笑われながらも満足して使っている。

上島町も時代に即応し、各家庭に設置していた告知端末機の音声情報伝達から、令和3年夏ごろから約550世帯(14%)の端末機申請者の方々を除いて、徐々に携帯電話「スマホ」の「上島町防災アプリ」での情報伝達へと切り替わり、行政からの「緊急情報」「町からのお知らせ」が日毎に更新された内容で読取れる状況になった。また防災アプリの機能も向上し、11月15日から表示件数が増加となるが、ではこのことで町民生活の利便性の向上や情報共有、有効性、実行性等

町内一斉情報伝達の目的とはなにかを考えよう



上島町人口の47%を占める65歳以上の高齢者はアナログ世代であり、デジタル文字情報のみのお知らせでは、それを重要情報と受け止め難いのではないのでしょうか？

が改善され評価できるのか疑問を感じている一人です。各地区では、既設の屋外スピーカーでの伝達や回覧板等の活用もないに等しい状況であり、概ね防災アプリの文字情報だけの周知では消化不良気味となると案じています。この状況を改善する一つの手は、主な「情報伝達」だけでも「生の声」で同日、同時に一斉に行い、町民全体が同時に情報共有する。そうしてこそ効果が発揮でき、地域社会の一体感や連帯感が醸成されるものと考えます。町行政のアナログからデジタルへの政策転換の努力は評価しますが、発信側も受信側も「生身の人間」。防災アプリの表示件数を増やしても、あの小さな文字から行政側の意向、熱意、使命感、責任感などは、なかなか伝わってきません。

(弓削 濱田 高嘉)

町内外との交流は、新しい建物がなければ出来ないのだろうか？

上島町にも道の駅をつくらうという案が持ち上がっています。漁協、農協、商工会、観光協会、区長など二十名以上の委員で構成される「道の駅検討委員会」も立ち上げられ、八月にはアンケート調査も実施されました。目指すのは第三ステージの道の駅とかで、住民の交流の場、観光拠点、災害時の避難場所となる総合施設とのこと

観光拠点として海の駅舎フラットがつけられたのはつい数年前のこと。立石港務所も弓削港務所もあります。岩城には地元特産品を販売する物産センターもあります。魚島には観光センターもあります。サイクリストが増えたとはいえ、現状は観光客があふれて、さばききれない状況にあるとは思えません。なぜ今道の駅なのでしょう？。今ある施設では不十分というなら、工夫、改良をしたらいいはずではないか。

立石港務所、弓削港務所も、町の特産品を置き、場合によっては飲食物を提供すれば、立派な道の駅になります。課題は特産品が少ないこと。新たな交流はモノを通して生まれます。建物をつくる前に漁業、柑橘など地元産業の育成にこそ力を入れるべきではないでしょうか。

建物をつくっただけでは、町民の債務が増え、閑散とした建物が残るだけでは？。

(弓削 古賀佳子)



自転車イベント風景(1)
YUMESHIMA CYCLING DAY



11月12日開催されたイベント風景(2)

村上演先生 そのご業績を紹介

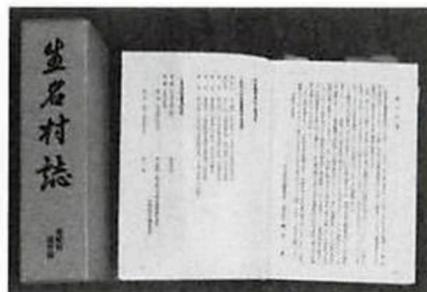
金谷芳寛(郷土史)
(岡山県瀬戸内市牛窓)



先生が最後に担当された自治体史は、郷里の「生名村誌」です。生名村は「平成の大合併」を控えた平成十一年夏に、村誌編纂委員会を発足。委員長は元村長の村上麟祥先生、専門委員として村上貢先生が古代から近代を担当、自然と風土は商船学校の塚本秀史先生、先史時代を村上和馬先生、民俗を村上宗子先生、近代の交通や越県合併問題を村上寛仁先生、教育と文化を福島布昌先生らの布陣で、編纂が行われました。生名島の歴史を先史時代より現代まで紐解き、地域に誇れる一〇五〇ページ余という大部な本ができあがりしました。

先生がこだわっていたことは、平易な文章で、読み手の村民にわかりやすく、生名の歴史を身近に感じてもらえること。編纂過程も、できるだけ村民に公開することでした。広報「いきな」で約五年にわたって連載された「村誌編纂室こぼれ話」も、村誌に収録されて、読み物としても村民が楽しめるよう配慮されています。

平成十二年から二年間行われた岡山商科大学教授陣による地域研究調査では、芸予諸島の歴史や経済、交通事情などを土井作治先生と共に、先生が主導なされて行われました。のちに、「岡山商大社会総合研究所報」第22、23号にまとめられ、「生名村誌」にもご研究の成果が生かされました。



▲村上貢先生が編纂に関わった「生名村誌」

特に「生名村庄屋村上寛治の生涯と芸予地域」(同23号所収)の論考は、生名島村上氏のルーツを調べる上でも、重要な文献となっています。

令和5年度・上島町文化財講座
 岩城島ゆかりの近代短歌を鑑賞する
 一三浦敏夫や若山牧水、吉井勇を中心として
 日時：12月23日(土)14時開演(無料)
 場所：岩城総合支所2階大ホール
 講師：青木亮人氏(愛媛大学教育学部教授)
 主催：上島町教育委員会 TEL:0897-77-2010



▲岩城郷土館(旧跡・島本陣・旧三浦邸)

恋してますか？

岩城郷土館(旧三浦邸)に魅せられて

今年の夏、実は私はやたらとウキウキすごしました。それは近所にある岩城郷土館となっている19代住み継がれた名家、三浦邸のおかげです。松山藩の殿様がお泊まりになった本陣とされるこの建築、庭園、そこから醸される空気感に恋をしてしまったからです。夏草を取り、苔に水をやり、涼しげな風鈴を坪庭の軒下に付け、手水鉢には水を張り、雅で繊細な工芸団扇をリサイクルで取り寄せて扇飾り、といった日本の夏らしさを満喫するしつらえに興じました。

春に一念発起でお雛様飾りをさせていただいて、その時に協

力して下さった方々と親しくなることができ、四月に片付けて、また来年〜とお雛様との別れを惜しんだのでした。家というものは人の暮らし全てを包むもので、あらゆる方面へ繋がっていきます。この空間にいと用の美学というか、日本の歳時記への美が自然



と心に浮かび上がってきて、それだけでは済まなくなってしまった結果、気がつくとも足繁く通う日々。会う人ごとに三浦邸を勧め、またそれに恥じない空

間をと、障子の棧にロウを塗って開け閉めを滑らかにしてみたり。茶室の炉を風炉に模様替えしたりと、なにやら忙しく、更にやりたい事が出てきた結果こうして皆様にお知らせしている次第。どこまでこの恋は発展するのでしょうか？

それはさておき、この三浦邸の文化的価値をもっと高めることに協力して下さる方はい

らっしゃいませんか？。家に眠る古民具、季節の茶道具、骨董品などなど、ご提供やアドバイスをお待ち申し上げます。

これから古民家、さぞ冷える季節に向かいますが何のその。アイデアを駆使し、様々な日本の伝統文化の発信基地にと夢(欲?)はつきません。

(岩城 山本ころ)

人に優しい社会を目指し政治に物申そう

来年度は上島町20周年。ということは合併20周年です。そして、上島町は選挙年。町長と議員の改選選挙があります。

次回選挙は議員定数が2名減の12名となります。人口減少に伴いとか財政健全化のための経費削減とか言えば納得がいきそうな気がしますが裏を返せば、多様性が失われ、ひとりひとりの責任や仕事は増え、なり手不足が懸念されることにもなります。全国的に見ても、定数削減すると、無投票率が上がるそうです。

現在上島町議会では、議員報酬を上げようと考えています。上島町議会議員の報酬は、月171000円。ここから、所得税を引かれて支給されます。専

業の議員は、国民年金しか入れませんから、国民健康保険税を引かれると一般のパート代くらいの収入となります。さてこれを多と思うか、少ないと思うかは、活動次第というところでしょうか。実際に住民の方からは、「少ないから上げてもらえ」といわれる方もいますし、「大した仕事もしないのにもらいすぎだ。」といわれる方もいるでしょう。でもひとつ言えるのは、今の議員報酬だけでは生活できないということです。



私が議員になったころ、ある先輩議員には「議員報酬は生活給ではないのだから、しっかりと自己研鑽に使うように」といわ

運命のドラフト会議

10月26日、プロ野球選手として登録されるドラフト会議が行われました。各プロ球団に就職できる狭き門です。本人の希望球団もありましようが、昨今は指名されると「お受けします」が習わしとなりました。旧くは阪神が作新学園の江川を指名したとき、「僕は巨人軍に入団したい」。当時小林繁投手が在籍して居た巨人軍との一夜のマジックで、阪神小林的江川が誕生しました。良し悪しはともかく、本人が小さい時から応援していた球団に入りたいのは人情としてわかります。

若い選手の皆さんは、己の努力で世界の大谷選手の様になれる可能性がります。なのでまずはプロ野球の選手として登録してくれるならどの球団でも良い。後は俺だ、の思いが強いのでは、と思います。今はドラフトのルールも変わり、以前よりも会議を視ながらの感動は薄くなりました。そうしたなか、1位指名を引き当てた現場を預かる監督が一番感動して居る姿は、俺が引き当



右を向いても
左を見ても

世の人の深き情けに永らえて、八重の坂超え我が幸思う (弓削 濱村寿)

月例会から

開催日時：10月28日(土)

14時〜16時

場所：自治研事務所(下弓削51番地・やよみ亭)にて以下の件につき意見交換しました。

①弓削高学寮②ゴミ出しカレンダー③町づくり懇談会④移住者対応と地域住民とのまじわり。等

●ワトスンへの記事募集中！

ワトスン編集係では、皆さんの投稿を募集中。但し匿名は不可です。

●みちくさ文庫：開設しました

自治研究会事務所のある「やよみ亭」にフリー図書室を開設しました。児童書、一般書、故・田坂紫苑氏蔵書、映画DVD等です。どうぞご利用ください。※貸出しも可です。ただし町内在住者にかぎります。

女性に優しい社会は、みんなにやさしい社会です。それを作るためには、まず政治に女性が物申すこと。生活は政治です。(岩城・大西幸江)